

MD-CD電蓄 「セレブリティ II」 (MD-CDニューステレオ)

取扱説明書

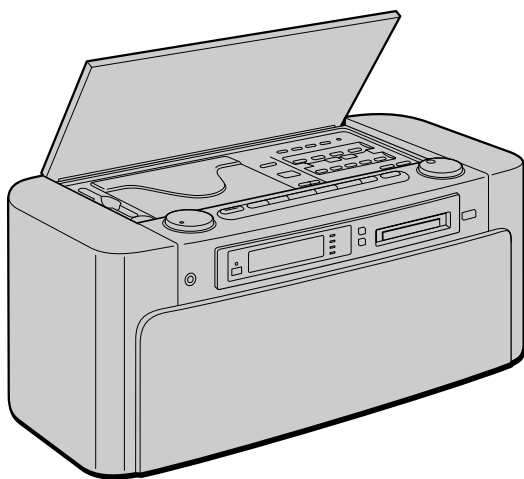
お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



C E L E B R I T Y II



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

MD-7000

**警告**

安全のために

MD-CD電蓄「セレブリティ II」は安全に十分配慮して設計されていますが、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い求め先またはSME・ファミリーズセレブリティご相談窓口にご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら、
煙が出たら



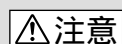
- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い求め先または
SME・ファミリーズセレブリティご相談窓口にご相談する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから
本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

はじめに

安全のために	4
主な特長	7
各部の名称	8

ここだけ読んでも使えます

準備	
電源などを準備する	13
ふたを開ける/閉める	14
時計を合わせる	15
基本操作	
CDを聞く	16
ラジオを聞く	18
CDをまるごと録音する	20
MDを聞く	22

CD・MD再生

表示窓の見かた	24
聞きたい曲を選ぶ(ダイレクト選曲/サーチ).....	25
繰り返し聞く(リピート再生).....	26

ラジオ

放送局を記憶させる(プリセット).....	27
記憶させた放送局を聞く(プリセット選局).....	30

録音

ラジオ・CDを録音する	31
録音済みのMDに録音する	32

MD編集

編集の前にお読みください	33
曲を消す(イレース機能).....	33
曲を分ける(ディバイド機能).....	35
曲をつなぐ(コンバイン機能).....	36
曲を移動する(ムーブ機能).....	37
ディスク名や曲名を付ける(ネーム機能).....	38

タイマー

音楽で目覚める	40
留守中にラジオを録音する	42
音楽を聞きながら眠る(スリープ機能).....	44

その他

他の機器をつないで使う	45
市販のアンテナをつなぐ	46
使用上のご注意	47
MDのシステム上の制約について	48
故障かな?と思ったら	50
メッセージ一覧	53
保証書とアフターサービス	54
主な仕様	54
ミニディスク(MD)とは	56
索引	57

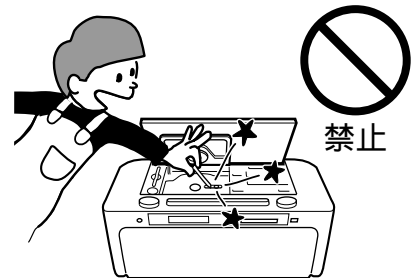
English(英文ダイジェスト).....	58
------------------------	----



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求め先またはSME・ファミリーズセレクトティにご相談窓口にご相談ください。

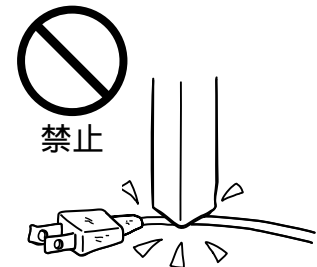


電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

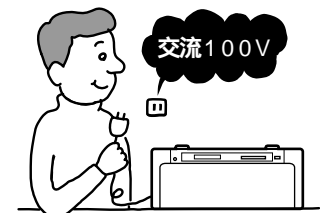
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い求め先またはSME・ファミリーズセレクトティにご相談窓口に交換をご依頼ください。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠️ 注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財に損害**を与えたりすることが
あります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い求め先またはSME・ファミリーズセ
レブリティご相談窓口にご相談ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日 光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあり
ます。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

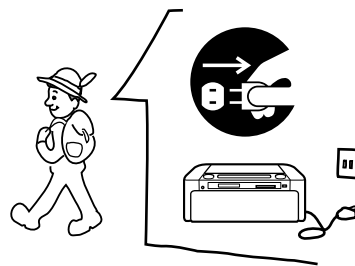
感電の原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使わないときは、電源プ ラグを抜く

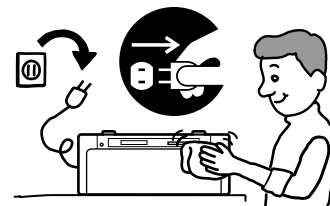
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つ
き、火災や感電の原因となることがあります。

長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセント
から抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因と
なることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因とな
ることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけ
がの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所
の強度もじゅうぶんに確認してください。



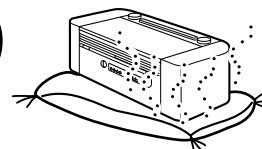
⚠ 注意

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

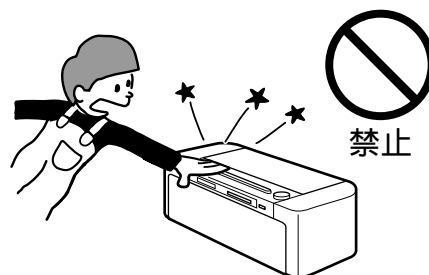


禁止



幼児の手の届かない場所に置く

上ぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



リモコンの電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- + と - の向きを正しく入れる。
 - 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

主な特長

本機は、これ一台でミニディスク (MD) とコンパクトディスク (CD) ラジオをお楽しみいただけます。キャビネットの上ぶたは電動で開閉します。

迫力ある重低音

スーパーウーファの搭載により、迫力ある重低音をお楽しみいただけます。

MD・CDの再生

基本操作のほかに、次の機能が楽しめます。

- ディスク中の全曲や1曲をくり返し聞くことができます。
(リピート機能)
- ディスク中の全曲を順序不同でくり返し聞くこともできます。
(リピートシャッフル機能)

ラジオの機能

- AMステレオ放送対応 — AMステレオ放送を臨場感のあるステレオサウンドで楽しめます。
- シンセサイザーチューナー搭載 — FM/AM各バンドに付き12局ずつ、計24局の放送局を記憶させることができます(プリセットチューニング)。また、その地域の主要な放送局名を表示させることができます。

MDへの録音

- CD → MDシンクロ録音 — ボタンひとつでCDをまるごとMDにデジタル録音できます。
- ラジオや、接続した機器からの音も、REC(録音)ボタンで録音できます。

MDの編集

録音した曲に曲名をつけたり、曲の順序を入れ換えたり、いらない曲を瞬時に消したりできます。

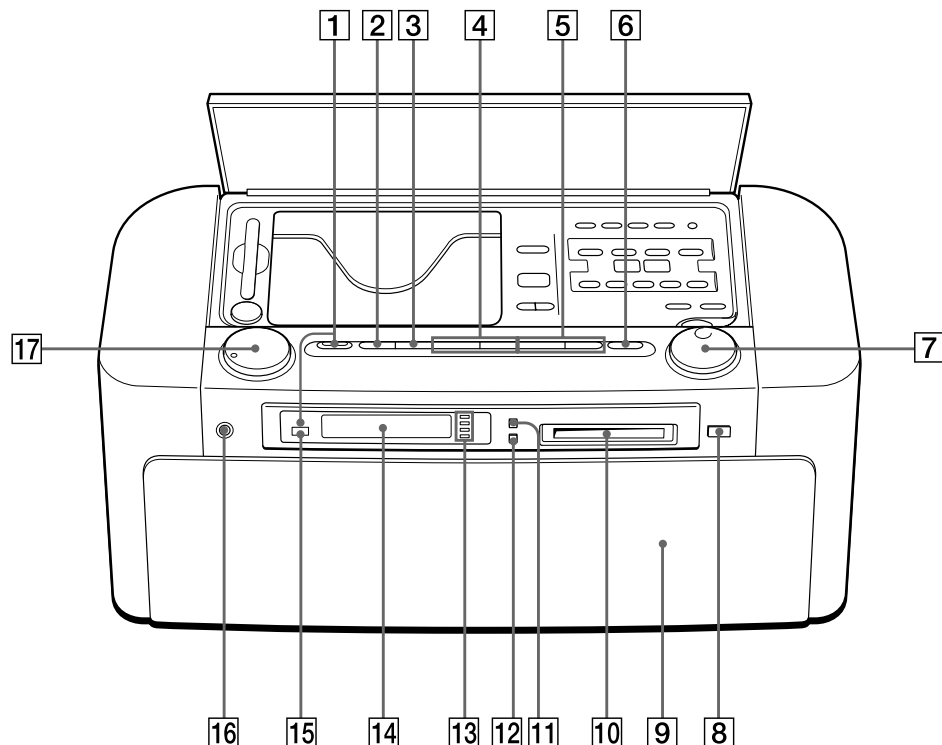
録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- MD-CDニューステレオの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
(お問い合わせ先(社)私的録音保証金管理協会 Tel.03-5353-0336)

各部の名称

()内のページに説明があります。

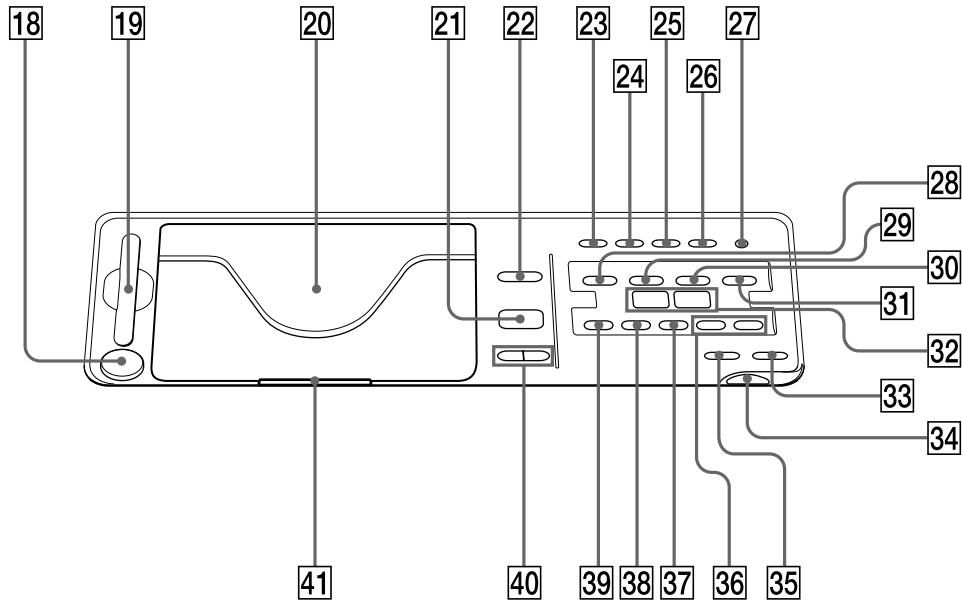
正面



- 1 ^{パワー} POWER (電源) スイッチ、ランプ (13)
- 2 ^{ライン} LINE (外部入力) ボタン (45)
- 3 ^{ラジオ エフエム エーエム} RADIO FM/AM (ラジオ / バンド切り換え) ボタン (18)
- 4 ^{シーディー} CD操作ボタン (17)
- ▶|| (演奏/一時停止) ボタン、ランプ
- (停止) ボタン
- 5 ^{エムディー} MD操作ボタン (23)
- ▶|| (演奏/一時停止) ボタン、ランプ
- (停止) ボタン
- 6 ^{オープン クローズ} OPEN/CLOSE (上ぶた開閉) ボタン (14)
- キャビネットのふたの開閉を電動で行います。
- 7 ^{エーエムエス チューニング タイム ネーム} ジョグダイヤル: AMS/TUNING/TIME/NAME
- ^{アジャスト} ADJUST (選曲 / 選局 / 時計合わせ / ネーム) つまみ (15、17、18、38)
- 説明文中ではこのつまみのことを「ジョグダイヤル」と表記しています。

- 8 ^{エムディー イジェクト} MD EJECT (MD取り出し) ボタン
- 9 ^{スピーカー} スピーカー部
- 10 ^{エムディー} MD挿入部 (20、22)
- 11 ^{ディスプレイ} DISPLAY (表示) ボタン (24)
- 12 ^{プレイ モード} PLAY MODE (演奏モード) ボタン (26)
- 13 ^{ファンクションランプ} ファンクションランプ (13)
- 14 ^{エムディー} MDランプ
- 15 ^{シーディー} CDランプ
- 16 ^{ラジオ} RADIOランプ
- 17 ^{ライン} LINE (外部入力) ランプ
- 18 ^{表示窓} 表示窓 (24)
- 19 ^{リモコン受光部} リモコン受光部
- 20 ^{ホーンズ} PHONES (ヘッドホン) ジャック (ステレオ標準ジャック)
- 21 ^{ボリューム} VOLUME (音量) 調節つまみ、ランプ (17、19、23)

上ぶたの中



シーディー オープン
18 CD OPENボタン (16)

19 リモコン収納部

リモコンは必ず横向きに入れてください。

縦に入れると、キャビネットの上ぶたが閉まりません。

シーディー
20 CDふた

シンクロ リコーディング シーディー エムディー シーディー エムディー
21 SYNCHRO REC CD → MD (CD → MDシンク

ロ録音)ボタン (20)

リコーディング
22 REC (録音)ボタン (31)

クロック
23 CLOCK (時計)ボタン (15)

スリープ
24 SLEEP (おやすみ)ボタン (44)

タイマー
25 TIMER ボタン (40)

スタンバイ
26 STANDBYボタン (41)

リセット
27 RESETボタン (52)

イレース
28 ERASE (消去)ボタン (33)

ディバイド
29 DIVIDE (曲分割)ボタン (35)

コンバイン
30 COMBINE (曲結合)ボタン (36)

ムーブ
31 MOVE (曲移動)ボタン (37)

エンター イエス
32 ENTER (入力)YESボタン、
キャンセル ノー
 CANCEL (取消し)NOボタン (33、34)

モノラル ステレオ
33 MONO/STEREOボタン (18)

34 ⇄ (送り)ボタン (38)

36 ⇄/⇄ (送り)ボタンの⇄と同じ働きをします。

プリセット オート マニュアル
35 PRESET (AUTO/MANUAL) ボタン (27)

36 ⇄/⇄ (送り)ボタン (38)

ネーム
37 NAMEボタン (38)

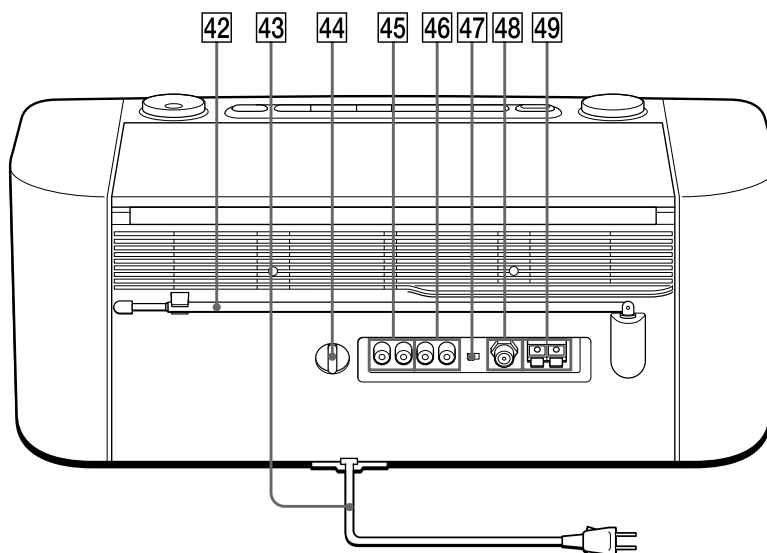
インサート
38 INSERT (文字挿入)ボタン (39)

デリート
39 DELETE (文字削除)ボタン (39)

サーチ チューニング
40 SEARCH ◀◀/▶▶・TUNING +/-ボタン
 (19、25)

シーディー
41 CD部照明ランプ (13)

裏面



^{エフエム}
42 FMロッドアンテナ (19)

43 電源コード (13)

^{バス ボリューム}
44 BASS VOL (重低音) 調整つまみ

重低音を調整するには

本機は迫力ある重低音を得るため、スーパーウーファを搭載しています。

つまみを右に回すとその効果が強まり、左に回すと弱まります。お好みに合わせて設定してください。

なお、設定するときは、バスドラムなど重低音(約100 Hz以下)を含んだ音源の入っているCDをお使いください。男性ボーカル程度の低音では効果を得られません。

^{ライン アウト}
45 LINE OUT (アナログ出力) ジャック (46)

^{ライン イン}
46 LINE IN (アナログ入力) ジャック (45)

^{ライン イン レベル}
47 LINE IN LEVEL スイッチ

^{ライン イン}
LINE IN ジャックにつないだ機器からの音量を調整します。大きすぎるときは「LOW」に、通常は「HIGH」に合わせます。

^{I-FIL エクスターナル アンテナ I-FIL}
48 FM EXTERNAL ANTENNA (FM外部アンテナ)

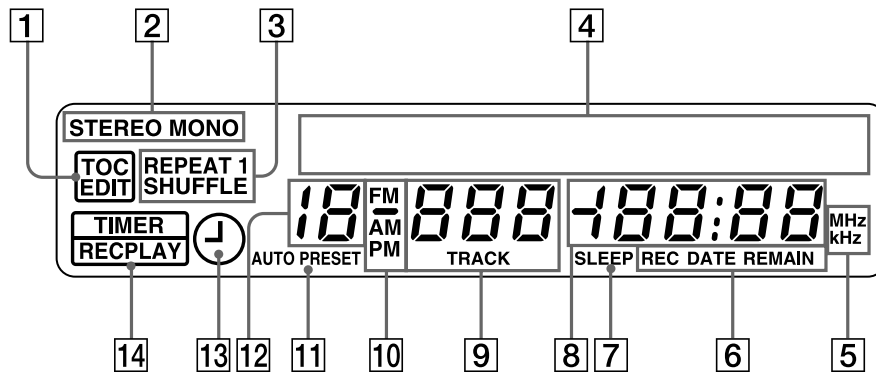
端子 (46)

^{I-FIL エクスターナル アンテナ I-FIL}
49 AM EXTERNAL ANTENNA (AM外部アンテナ)

端子 (13)

付属のAMループアンテナを接続します。

表示部



1 トック エディット (TOC編集) 表示
ステレオ モノラル

2 STEREO/MONO表示

3 演奏状態表示 (MD、CD)

4 ドット表示部

文字情報を表示します。

5 周波数表示

レコーディング デート

6 REC DATE (録音日付) 表示

レコーディング リメイン

REC REMAIN (録音可能時間) 表示

リメイン

REMAIN (残り時間) 表示

スリープ

7 SLEEP表示

8 CD/MD時：演奏時間 (分/秒) 表示

ラジオ時：周波数表示

時計時：現在時刻 (時/分) 表示

9 CD/MD時：TRACK (曲番) 表示

10 ラジオ時：FM/AM表示

エーエム ビーエム

時計時：AM (午前) / PM (午後) 表示

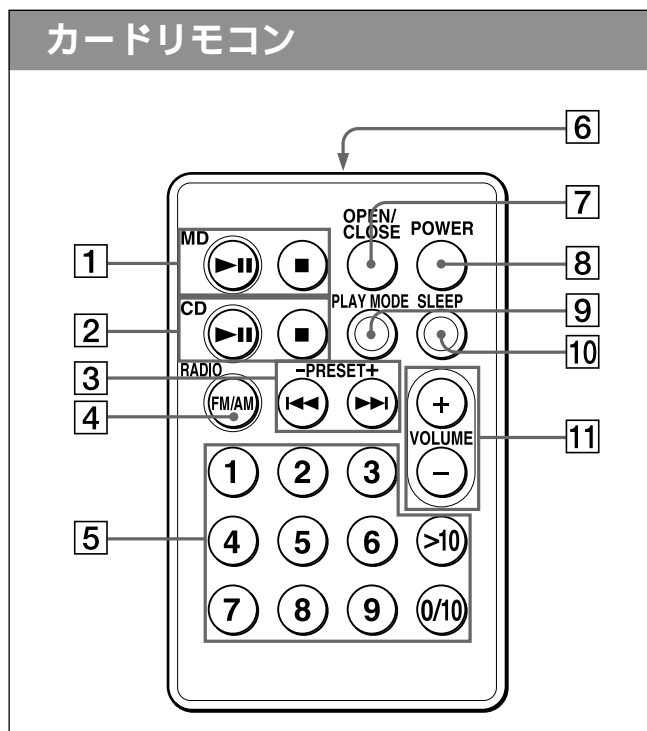
11 AUTO PRESET、PRESET表示

12 プリセット番号表示

13 ⌚ (タイマー動作中) 表示

タイマー レコーディング タイマー プレイ

14 TIMER REC/TIMER PLAY表示



- 1 MD操作ボタン (22、23)
エムディー
 ▶|| (演奏/一時停止) ボタン
 ■ (停止) ボタン
- 2 CD操作ボタン (16、17)
シーディー
 ▶|| (演奏/一時停止) ボタン
 ■ (停止) ボタン
- 3 PRESET+/-・I◀◀/▶▶I (選曲) ボタン (17、19、23、25、27)
プリセット
 このボタンは放送局のオートプリセットにも使えます。
ラジオ I721A I-11A
- 4 RADIO FM/AM (18)
- 5 数字ボタン (25、30)
- 6 発光部
 本体の受光部に向けます。
- 7 OPEN/CLOSE (上ぶた開閉) ボタン (14)
オープン クローズ
- 8 POWER (電源) スイッチ (13)
パワー
- 9 PLAY MODE (演奏モード) ボタン (26)
プレイ モード
- 10 SLEEP ボタン (44)
スリープ
- 11 VOLUME (音量) 調節ボタン (17、19、23)
ボリューム

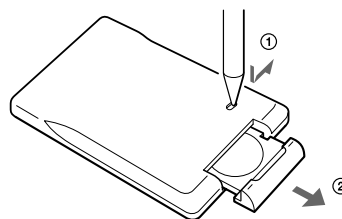
リモコンの使いかた

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコン操作ができない場合があります。リモコンの届く距離は約5mです。
- 本機に付属のカードリモコンで、ソニー製のオーディオ製品が作動する場合があります。その場合は、本機とこれらのオーディオ製品を離してご使用ください。また、並べてご使用になる場合で、どちらかのリモコン作動を停止したい場合には、該当する機器のリモコン受光部をビニールテープなどで覆ってください。

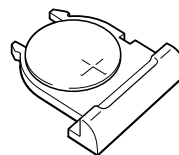
リモコンのリチウム電池の取り換えかた

リモコンのリチウム電池はあらかじめ入れてありますが、リモコンで操作できる距離が短くなったなら新しいリチウム電池CR2025 (別売) に取り換えてください。
 新しいリチウム電池は通常で約6か月間使用できます。(リチウム電池の寿命は、リモコンの使用頻度などによって変わってきます。)

1 リチウム電池入れを引き出す

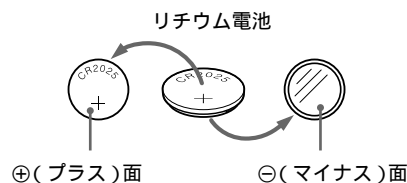


2 ⊕面を上にして新しいリチウム電池CR2025を入れる



3 リチウム電池入れを差し込む

⊕面と⊖面を正しく入れてください。逆に入れると、リモコンが動きません。

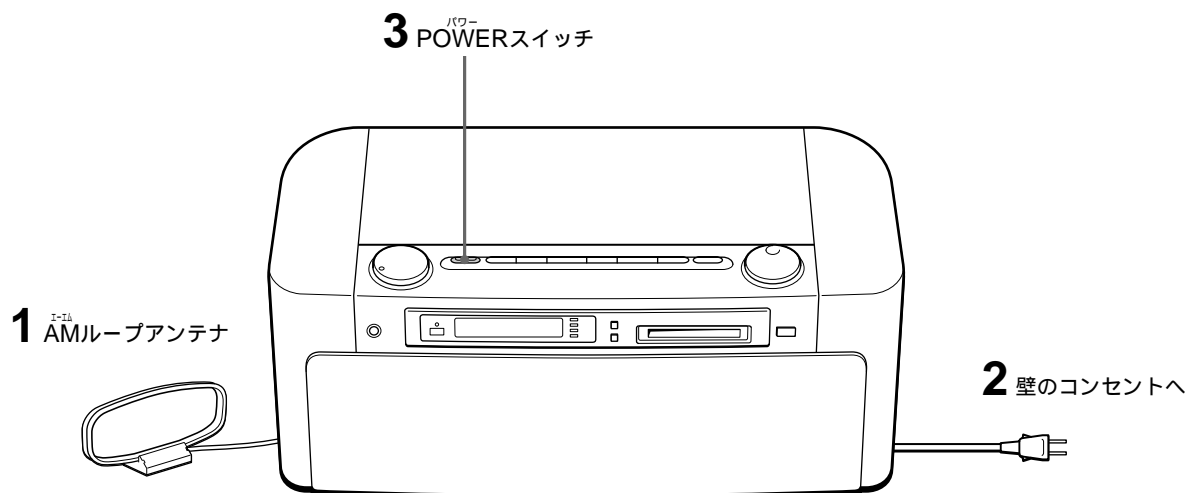


ご注意

リチウム電池について

ボタン型電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。万一、お子様が電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

電源などを準備する



ご注意

AMループアンテナはできるだけ本体から離してください。雑音の原因になります。



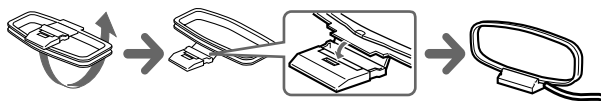
ダイレクトパワーオンについて
本機ではPOWERスイッチを押さなくても、CD、MDの▶||ボタンやRADIO FM/AM、LINEボタンで電源を入れることができます(ダイレクトパワーオン機能)。例えば、CDが入っているときにCDの▶||ボタンを押すと、電源が入ると同時にファンクションがCDに切り換わり(ダイレクトファンクション機能)、演奏が始まります。



電源コードの極性(コンセントにプラグを差し込む向き)により音質が微妙に変わることがあります。好みの向きでお使いください。

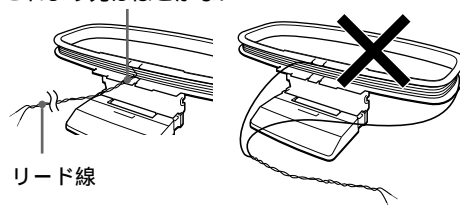
1 AMループアンテナを接続する。

AMループアンテナを組み立てるには

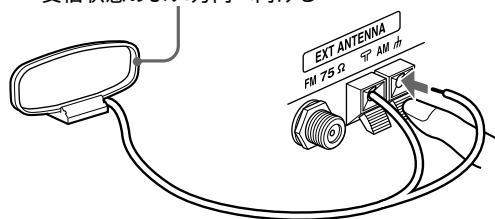


AMループアンテナの枠に巻いてある線ははずしてしまうと、アンテナとして機能しなくなり、受信できなくなります。アンテナ線は枠からはずさないでください。よってある部分はリード線です。リード線はのばしてお使いください。

これより先はほどかない



AMループアンテナ(付属)
受信状態のよい方向へ向ける

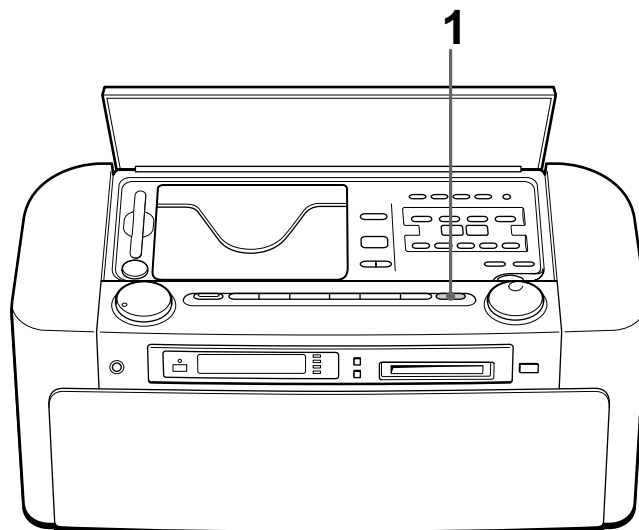


2 家庭用電源コンセント(AC100V)に電源コードのプラグをしっかりと差し込む。

3 POWERスイッチを押して電源を入れる。

POWERランプ、ファンクションランプ、VOLUMEランプが点灯し、表示窓が照明されます。

ふたを開ける/閉める

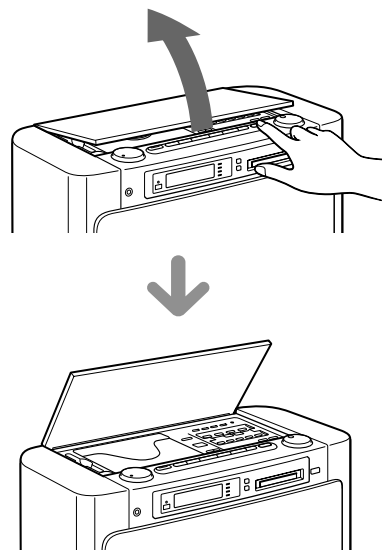


ご注意

- ふたは必ず^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEボタンで開閉してください。絶対に直接手でふた自体を開閉しないでください。故障の原因になることがあります。
 - ふたは電源の入/切に関係なく、^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEボタンを押せば開閉します。
 - 上ふたの開閉時には、ふたに指などをはさまないように注意してください。
- 万一はさんだときは、もう一度^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEボタンを押してふたを開けてください。(安全設計上、数秒後にふたは自動的に開くか、その位置で止まります。)
- 上ふたの上には、物を置かないでください。

1

^{オープン} OPEN/^{クローズ} CLOSEボタンを押す。



CD部照明ランプが点灯します。

ふたを閉めるには

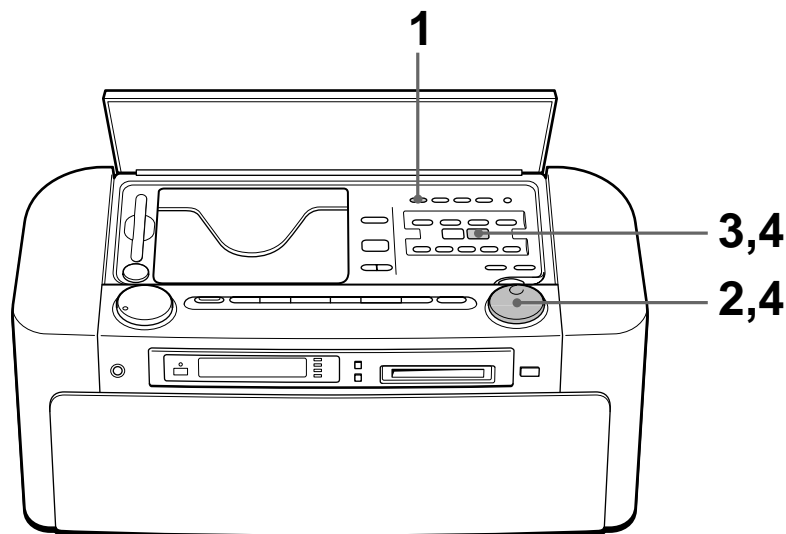
^{オープン} OPEN/^{クローズ} CLOSEボタンを押します。

ふたが閉まります。

CDふたが開いていても

^{オープン} OPEN/^{クローズ} CLOSEボタンを押せば、^{シ-ディ-}CDふたも同時に閉まります。

時計を合わせる



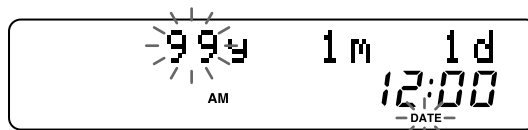
- 本機の時計は12時間表示です。
真夜中 : 「AM12:00」
正午 : 「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、電話の時報サービス(117番)をご利用になると便利です。
- 時計合わせは、本機の電源の入/切に関係なくできます。
- 西暦2000年は「00」、2001年は「01」と表示されます。

ご注意

時計の情報は電源コードをはずすと約2時間で消えます。

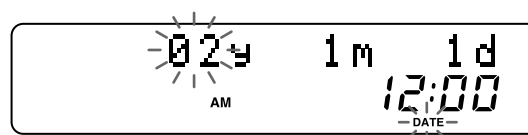
1

西暦年の数字が点滅するまで、^{クロック}CLOCKボタンを押したままにする。



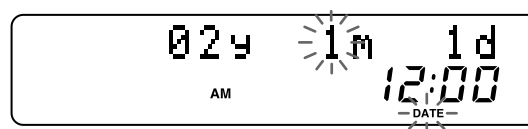
2

ジョグダイヤルを回して年を合わせる。



3

^{エンター} ^{イエス}ENTER/YESボタンを押して確定する。
月の数字が点滅します。



4

手順2、3を繰り返して月、日、時、分を合わせる。

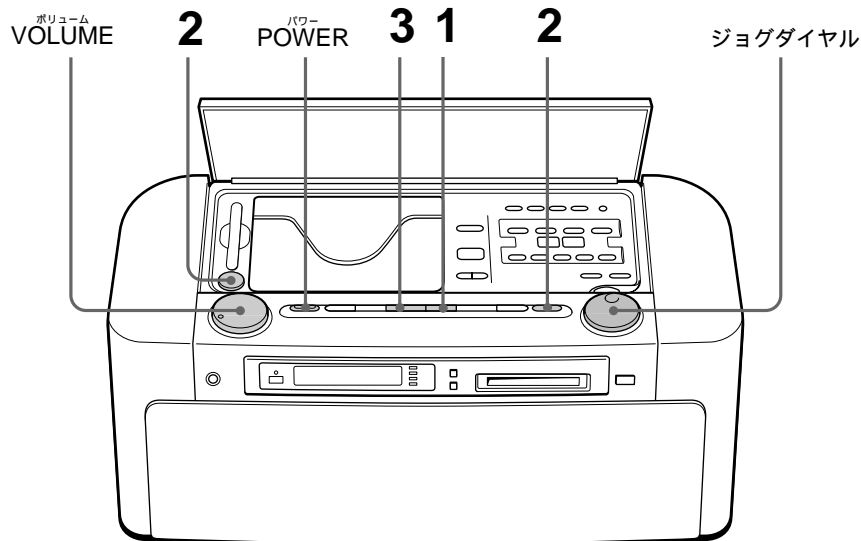
分を合わせて^{エンター} ^{イエス}ENTER/YESボタンを押すと、点滅が止まり、時計が00秒から動きます。

その他の操作

時計表示を出すには

^{クロック}CLOCKボタンを押します。元の表示に戻すには、もう一度^{クロック}CLOCKボタンを押します。電源が切れているときは、常に時計が表示されます。

CDを聞く



「電源の準備」については、13ページをご覧ください。

ご注意

本機にMDが入っている場合、電源を入れると「MD TOC Read」が表示され、数秒間音が出ないことがあります。これはMDのTOC (目次)を読み出しているため、故障ではありません。



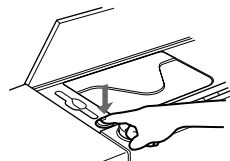
オープン/クローズボタンを押して上ぶたを閉めると、CDぶたも同時に閉まります。

1 シーディー CDの■ボタンを押して、CDを操作できる状態にする。

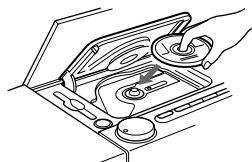
2 シーディー CDを入れる

① オープン/クローズ ボタンを押して上ぶたを開ける。

② シーディー オープン ボタンを押して、シーディー CDぶたを開ける。

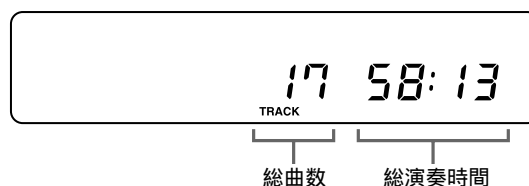
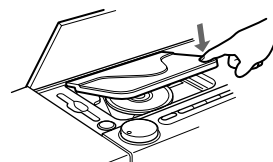


③ シーディー CDの、文字のある面を上にして中央を正しく合わせて入れる。



④ シーディー CDぶたを閉める。

CDが回転し、総曲数と総演奏時間が表示されます。





一度CDを入れておけば、次にCDを聞くとときはCDの▶||ボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。



音とびするときは

- CDに傷や汚れ(指紋など)がついていたり、そりがあると、音とびの原因となることがあります。CDをご確認ください。
- スピーカーの音量が大きすぎるときも、音とびの原因となることがあります。音量をご確認ください。

ご注意

- コンパクトディスク(CD)はアナログ式と比べ非常に雑音が少なくなっています。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音量が出ることがあります。はじめに必ず音量を小さくしてください。
- CDが回転しているときは、CDぶたを開けないでください。
- 本機のCDプレーヤーが近くのリジオやテレビの受信に妨害を与えるときは、本機を離しておくか、CDを止めてください。
- CDが入っていないと、数秒後に次のような表示に変わります。

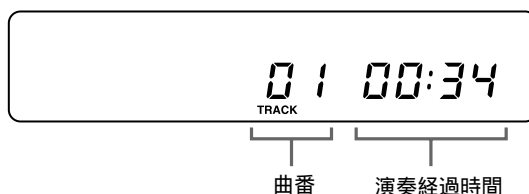
NO CD

3

シーディー

CDの▶||ボタンを押す

再生が始まります。



こんなときは	押すボタン/操作(リモコンでの操作)
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す(VOLUME+/-を押す)
再生を止める	CDの■
再生中に一時停止する	CDの▶ もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す	ジョグダイヤルを左に回す。 (◀◀を押す。)
前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左に回す。 (◀◀を押す。)
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右に回す。 (▶▶を押す。)
CDを取り出す	シーディー オープン CD OPEN
電源を入/切する	パワー POWER

ディスクの取り扱いかた



文字のない面に触れないように持ちます。

紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。

シーディー

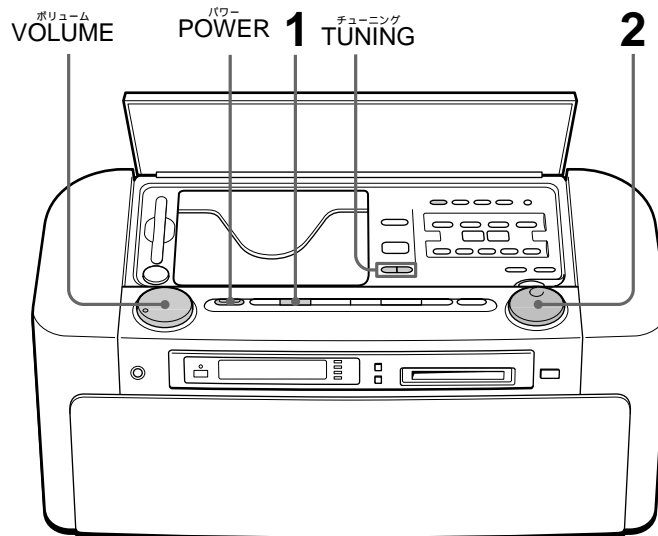
CDの保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い所には置かないでください。
特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。
- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。
ケースに入れずに、重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

シーディー

CDのお手入れについては48ページを参照してください。

ラジオを聞く



「電源の準備」については、13ページをご覧ください。

ご注意

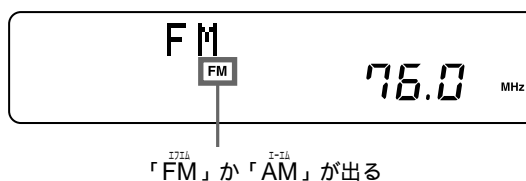
本機にMDが入っている場合、電源を入れると「MD TOC Read」が表示され、数秒間音が出ないことがあります。これはMDのTOC(目次)を読み出しているためで、故障ではありません。



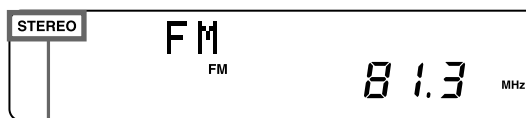
ステレオ放送の雑音が多いときはふたの中のMONO/STEREOボタンを押して、表示窓の「STEREO」を消します。「MONO」が一瞬表示されます。音はモノラルになります。

1 RADIO FM/AMボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

電源が入り、「FM」か「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。



2 ジョグダイヤルを回して、聞きたい局の周波数に合わせる。



ステレオ受信のとき「STEREO」が出る

ご注意

受信状態がよくなかったり、電波が弱いなどで自動的に受信できなかったときは、ジョグダイヤルを回して選局してください。



ラジオの電波の強さは、地域により異なる場合があります(高低差、ビルの影響、送信所からの距離、など)。また、同じ地域でも設置環境で大きく変わる場合があります(家が鉄筋か木造か、窓に近いかなど)。

電波が弱いと音が不安定になったり、雑音が増えたりします。



デジタル機器であるMDからは、強力で不快なデジタル雑音が発生します。このためAMにおいては、AMアンテナへのデジタル雑音の混入を避ける目的で、本体(MD部)から遠ざけることのできる「ループアンテナ」を採用しました。またFMにおいても、受信感度よりもデジタル雑音の軽減を重視した設計となっております。

その他の操作

こんなときは	押すボタン/操作(リモコンでの操作)
音量を調節する	<small>ボリューム</small> VOLUMEつまみを回す(VOLUME+/-を押す)
電源を入/切する	<small>パワー</small> POWER

放送局を自動的に受信するには(オートチューニング)

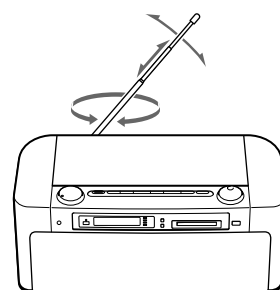
チューニング TUNING + または - ボタン(リモコンではプリセット PRESET +/- ボタン)を押したままにし、表示窓の数字が動き始めたら指を離します。

放送局を自動的に探し、受信した局で止まります。

受信状態をよくするには

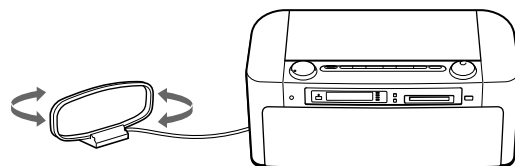
FM FM放送のとき

アンテナを伸ばし、向きを変える。
それでも受信状態がよくならない場合は、FM FM屋外アンテナを接続してください(46ページ参照)。

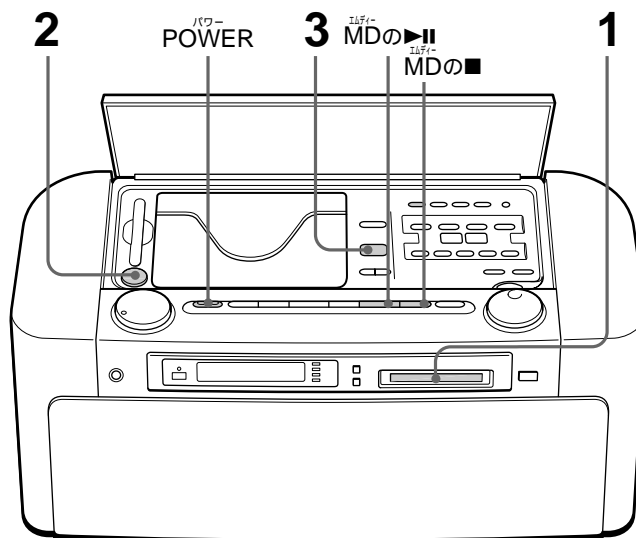


AM AM放送のとき

AMループアンテナを本体からできるだけ離し、向きを変える。



CDをまるごと録音する



「電源の準備」については、13ページをご覧ください。
録音済みのMDに録音するには、32ページをご覧ください。

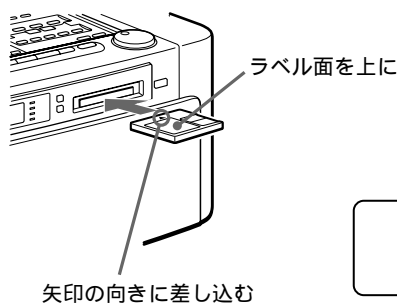
ご注意

録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。



- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- 時計が合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます。(15ページ)
- SYNCHRO REC CD MDボタンを使って録音すると、自動的にCDの曲番(頭出しマーク)がMDに記録されます。曲の頭出しなどに便利です。

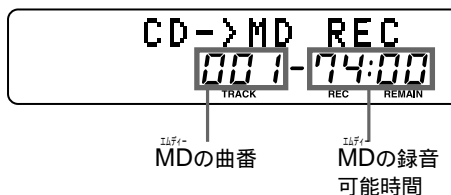
- 新しいIMDを入れる。
電源が入ります。



MD TOC Read
000
TRACK

- CD OPENボタンを押してCDぶたを開け、CDを入れる。(16ページ参照)

- SYNCHRO REC CD MDボタンを押す。
自動的に録音が始まります。



ご注意

CDをまるごと録音する場合、録音の一時停止などはできません。

こんなときは 押すボタン

録音を止める MDの■

電源を入/切する POWER

「CD>MD OK?」と 足りない時間が交互に表示されたら

MDの時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、もう一度SYNCHRO REC

CD→MDボタンを押します。録音をやめるときは、MDの■ボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは53ページをご覧ください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

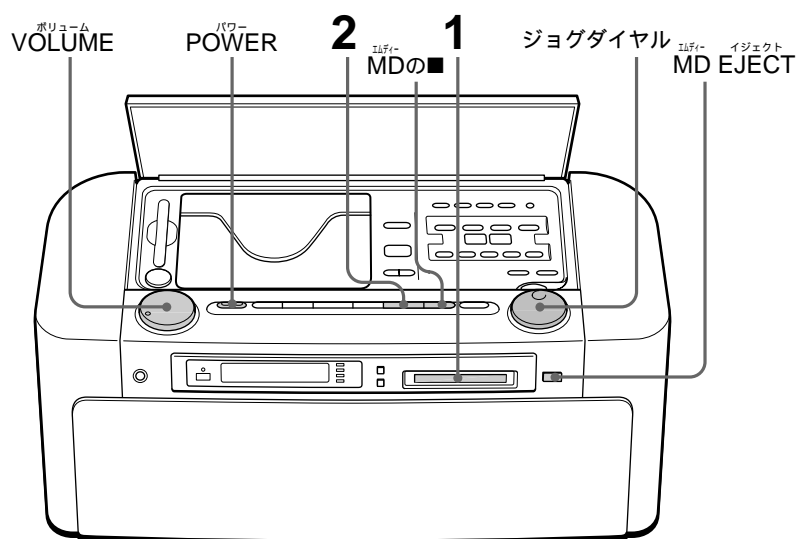
内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。



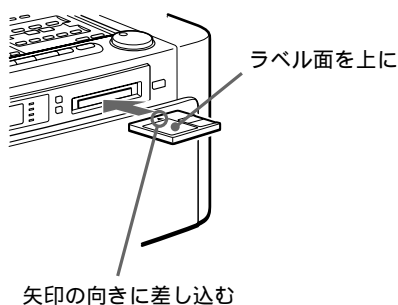
シャッター カートリッジ

MDを聞く



「電源の準備」については、13ページをご覧ください。

- 1 ^{エムディ-}MDを入れる。
電源が入ります。



^{エムディ-}「MD TOC Read」表示後、ディスク名があるときはディスク名が出る



- 2 ^{エムディ-}MDの▶||ボタンを押す。
再生が始まります。





一度MDを入れておけば、次にMDを聞くときはMDの▶||ボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。

ご注意

MDが入っていないと、数秒後に次のような表示に変わります。

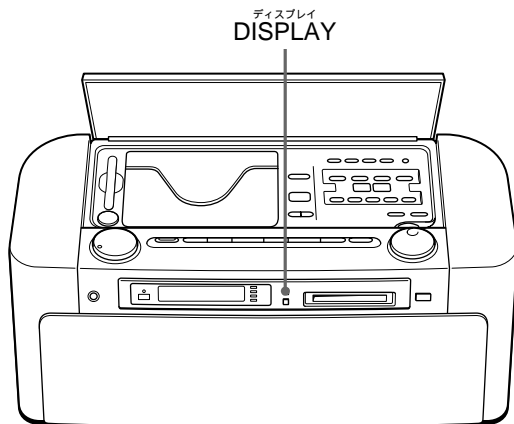
NO MD

その他の操作

こんなときは	押すボタン/操作 (リモコンでの操作)
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す (VOLUME +/- を押す)
再生を止める	MDの■
再生中に一時停止する	MDの▶ もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す	ジョグダイヤルを左に回す。 (◀◀ を押す。)
前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左に回す。 (◀◀ を押す。)
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右に回す。 (▶▶ を押す。)
MDを取り出す	イジェクト MD EJECT
電源を入/切する	POWER

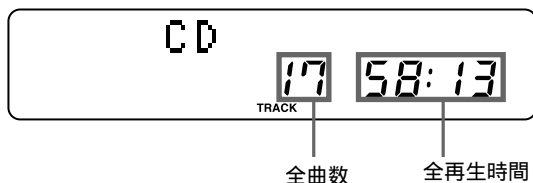
表示窓の見かた

表示窓で、^{シーディー}CDまたは^{エムディー}MDの全曲数や全再生時間などを調べることができます。



^{シーディー}CDの停止中

全曲数と全再生時間が表示されます。



^{シーディー}CDの再生中

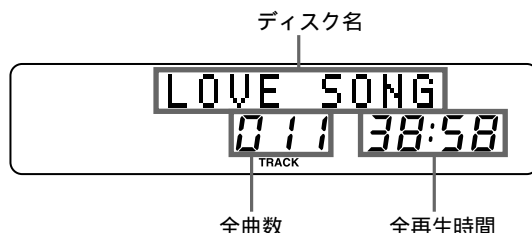
再生中の曲番と曲の再生経過時間が表示されます。

残り再生時間を調べるには
^{ディスプレイ}DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲の残り時間	1回
残りの曲数と残り時間	2回
再生中の曲番と曲の再生経過時間 (通常表示)	3回

^{エムディー}MDの停止中

全曲数と全再生時間、ディスク名が表示されます。



録音用MDの録音可能時間を調べるには
^{ディスプレイ}DISPLAYボタンを押します。

^{エムディー}MDの再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間、および曲名が表示されます。

残り再生時間、録音日時などを調べるには
^{ディスプレイ}DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲の残り時間	1回
残りの曲数と残り再生時間、および ディスク名	2回
録音した日時、時刻*	3回
再生中の曲番と曲の再生経過時間、 および曲名(通常表示)	4回

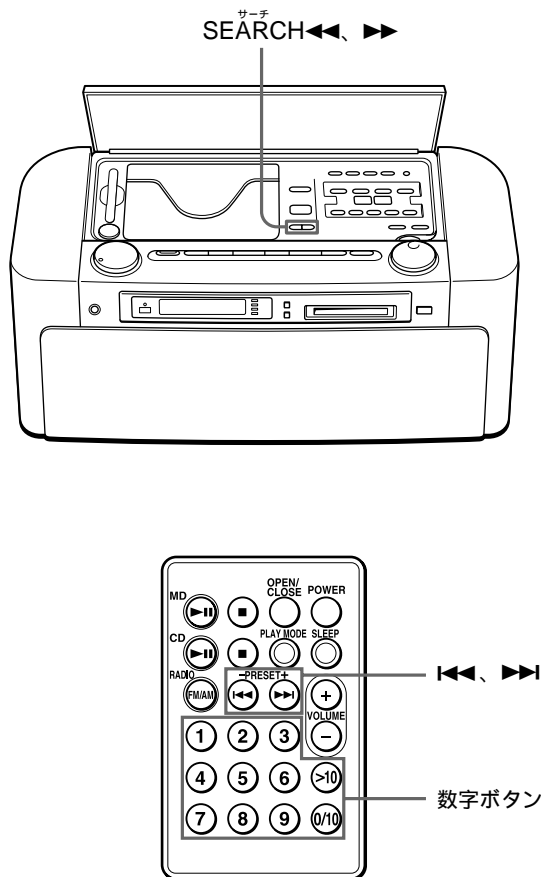
* 時計を合わせていないと表示されません(15ページ)。



^{エムディー}MDにディスク名、曲名が記録されていないときは「MD」が表示されます。

聞きたい曲を選ぶ (ダイレクト選曲/サーチ)

シ-ディ- エムディ-
CDまたはMDの聞きたい曲の再生を、リモコンの数字
ボタンですぐに始められます。また、本体の
サーチ
SEARCH◀◀または▶▶ボタンやリモコンの◀◀または
▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともで
きます。



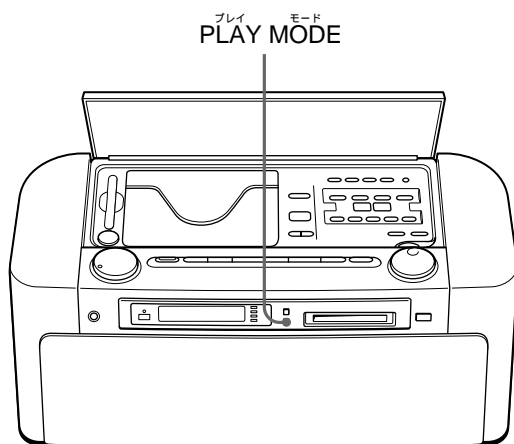
選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲)	リモコンで、聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す (サーチ)	再生中に、本体の サーチ SEARCH◀◀/▶▶ボタンやリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押したままにする。 指を離すと、そこから再生されます。
高速で探す 再生音が出ないので 表示窓の再生時間を見ながら探します。 (高速サーチ)	一時停止中に、本体の サーチ SEARCH◀◀/▶▶ボタンやリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押したままにする。指を離すと、その位置で一時停止になります。



- 10曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン(1~0)を押します。
例：23曲目を選ぶときは、
>10 → 2 → 3の順に押します。
10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- MDで100曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

繰り返し聞く (リピート演奏)

シーディー エムディー
CDまたはMDの1曲だけ、または全曲を繰り返し聞くことができます。曲順を変えて繰り返すこともできます。

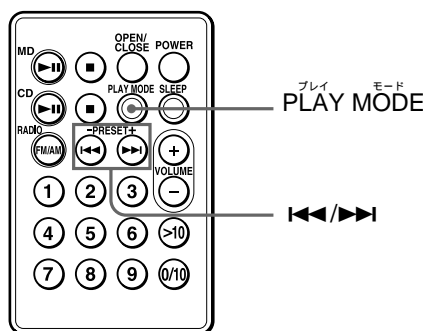


次の操作をする。

リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 繰り返したい曲を再生する。 2 <small>プレイ モード</small> <small>リピート</small> <small>PLAY MODE</small> ボタンを繰り返し押し、 <small>「REPEAT 1」</small> を表示させる。
全曲を繰り返す	1 再生を始める。 2 <small>プレイ モード</small> <small>リピート</small> <small>PLAY MODE</small> ボタンを繰り返し押し、 <small>「REPEAT」</small> を表示させる。
順不同に繰り返す	1 再生を始める。 2 <small>プレイ モード</small> <small>シャッフル</small> <small>リピート</small> <small>PLAY MODE</small> ボタンを繰り返し押し、 <small>「SHUFFLE REPEAT」</small> を表示させる。

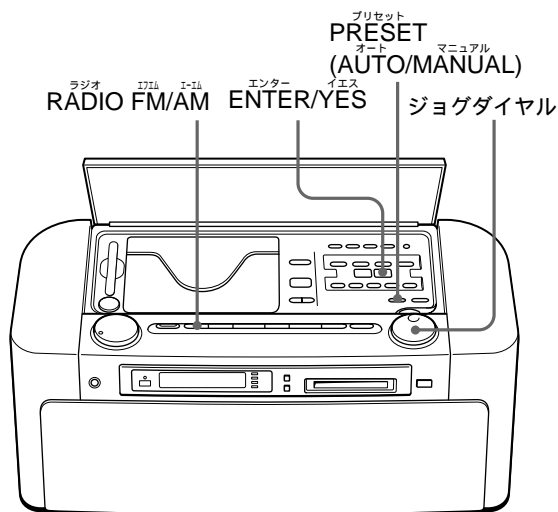
リピート演奏をやめるには

プレイ モード リピート PLAY MODE ボタンを押し、「REPEAT」を消します。



放送局を記憶させる (プリセット)

受信状態の良い放送局を自動的に記憶します(オートプリセット)。次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM、AM各12局ずつ、計24局記憶できます。また、本機には、全国の主要な放送局名があらかじめ記憶されているので、都道府県名を選ぶだけで受信放送局名を表示させることができます。



- 1 ^{ラジオ} RADIO FM/AMボタンを押して、^{I7FM} FMか^{I-I6} AMを選ぶ。
- 2 ^{オート}「^{プリセット}AUTO PRESET」が点滅するまで、^{プリセット}PRESET (AUTO/MANUAL) ^{オート}ボタンを押したままにする。



プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ、受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。
記憶されると、プリセット番号1に記憶された局を受信し、都道府県名が表示されます。

- 3 ジョグダイヤルを回して都道府県名を選ぶ。

放送局名を表示させないときは

^{プリセット}PRESET (AUTO/MANUAL) ^{オート}ボタンを押します。

- 4 ^{エンター}ENTER/YES ^{イース}ボタンを押す。
放送局名が記憶され、プリセット選局したときに表示されます。表示される放送局については28、29ページをご覧ください。



受信状態や地域によっては、記憶できる放送局が12局以下になる場合があります。

ご注意

- 手順2のあとで都道府県名が表示されないときは、1局も記憶されていません。アンテナの状態を確認してください。(13、19ページ)
- 手順3で^{プリセット}PRESET (AUTO/MANUAL) ^{オート}ボタンを押さずに約10秒以上たつと前回登録した都道府県名が登録されます。選び直すには手順2からやり直してください。

(次ページへ続く)

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させるには（マニュアルプリセット）

- 1 RADIO FM/AMボタンを押してFMかAMを選ぶ。
ラジオ FM AM
- 2 ジョグダイヤルで記憶させたい放送局の周波数に合わせ、PRESET (AUTO/MANUAL) ボタンを短くポンと押す。
プリセット オート マニュアル
- 3 ジョグダイヤルで記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
エンター イエス
- 4 ENTER/YESボタンを押す。
都道府県名が登録されている場合（27ページ）は放送局名が表示されます。新しい放送局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。



記憶させた局を消すには、30ページの手順で受信したあと、CANCEL/NOボタンを約2秒間押したままにします。
選んだ放送局の記憶は消えます。

放送局名を変更したり、新たに記憶させるには本機には右の表の放送局名があらかじめ記憶されています。表にある放送局で同じ周波数の局であれば、放送局名を変えたり記憶させたりできます。

- 1 30ページの手順に従って、放送局を選ぶ。
ディスプレイ
- 2 DISPLAYボタンを約2秒間押す。
周波数に該当する放送局名が点滅します。
- 3 ジョグダイヤルを回して局名を選ぶ。
エンター イエス
- 4 ENTER/YESボタンを押す。



放送局名を消すには上の手順にしたがって操作し、手順3でジョグダイヤルを回して空欄を選びます。
消したあと、そのプリセット番号を選ぶと、放送局名のかわりに「FM」または「AM」が表示されます。

ご注意

記憶された局は電源コードをはずすと約2時間で消えます。

FM局名

放送局名	表示
NHK-FM	NHK-FM
FM北海道	FMホッカイドウ
FMノースウェーブ	northwave
FM青森	FMアオモリ
FM岩手	FMイワテ
FM仙台	FMセンダイ
FM秋田	FMアキタ
FM山形	FMヤマガタ
FM福島	フクシマFM
FM栃木	RADIO BERRY
FM群馬	FMグンマ
FM埼玉	NACK 5
FMサウンド千葉	bay fm
放送大学	ホウソウダイガク
FM東京	TOKYO FM
FMジャパン	J wave
横浜FM放送	Fm yokohama
FMラジオ新潟	FMニイガタ
富山FM放送	FMトヤマ
FM石川	FMイシカワ
福井FM放送	FMフクイ
FM富士	FMフジ
長野FM放送	FMナガノ
静岡FM放送	K・MIX
FM名古屋	ZIP-FM
FM愛知	FM AICHI
三重FM放送	ミエFM
FM京都	AlphaStation
FMはちまくに	FM802
FM大阪	fm osaka
関西インターメディア	FM CO・CO・LO
兵庫FMラジオ放送	Kiss-FM
FM山陰	FMサンイン
広島FM放送	ヒロシマFM
FM山口	FMヤマグチ
FM徳島	FMトクシマ
FM香川	FMカガワ
FM愛媛	FMエヒメ
FM高知	FMコウチ
FM九州	CROSS FM
FM福岡	FMフクオカ
FM佐賀	FMサガ
FM長崎	FMナガサキ
FM中九州	FMナカキュウシュウ
FM大分	FMオオイタ
FM宮崎	FMミヤザキ
FM鹿児島	ミューFM
FM沖縄	FMオキナワ
FMインターウェーブ	InterFM
FM滋賀	FMシガ

AM局名

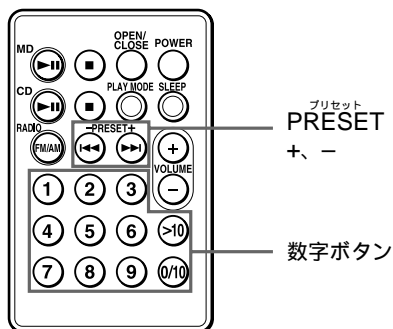
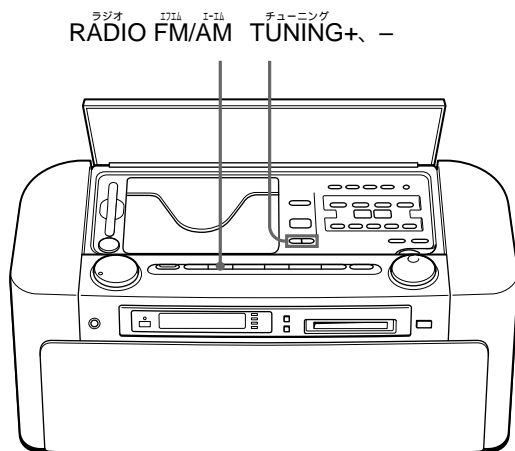
放送局名	表示
NHK第1放送	NHK-1
NHK第2放送	NHK-2
北海道放送	HBC/ホッカイドウ
札幌テレビ放送	STV/サッポロTV
青森放送	RAB/アオモリ
FEN三沢	FEN ミサワ
アイビシー岩手放送	IBC/イワテ
東北放送	TBC/トウホク
秋田放送	ABS/アキタ
山形放送	YBC/ヤマガタ
ラジオ福島	RF/ラジオフクシマ
茨城放送	IBS/イバラキ
栃木放送	CRT/トチギ
FEN東京	FEN トウキョウ
東京放送	TBS
文化放送	ブンカ
ニッポン放送	ニッポン
アール・エフ・ラジオ日本	RFラジオニッポン
新潟放送	BSN/ニイガタ
北日本放送	KNB/キタニホン
北陸放送	MRO/ホクリク
福井放送	FBC/フクイ
山梨放送	YBS/ヤマナシ
信越放送	SBC/シンエツ
岐阜放送	GBS/ギフ
静岡放送	SBS/シズオカ
東海ラジオ放送	トウカイラジオ
中部日本放送	CBC/チュウブニホン
近畿放送	KBSキョウト
朝日放送	ABC/アサヒ
毎日放送	MBS/マイニチ
大阪放送	OBC/オオサカ
ラジオ関西	AMK/ラジオカンサイ
和歌山放送	WBS/ワカヤマ
山陰放送	BSS/ サンイン
山陽放送	RSK/ サンヨウ
中国放送	RCC/チュウゴク
山口放送	KRY/ヤマグチ
EN岩国	FEN イワクニ
四国放送	JRT/シコク
西日本放送	RNC/ニシニホン
南海放送	RNB/ナンカイ
高知放送	RKC/コウチ
九州朝日放送	KBCキョウシュウアサヒ
アール・ケー・ビー毎日放送	RKBマイニチ
長崎放送	NBC/ナガサキ
FEN佐世保	FEN サセボ
熊本放送	RKK/クマモト
大分放送	OBS/オオイタ

宮崎放送	MRT/ミヤザキ
南日本放送	MBC/ミナミニホン
FEN沖縄	FEN オキナワ
琉球放送	RBC/リュウキュウ
ラジオ沖縄	ROK/ラジオオキナワ

放送局の事情で、局名が変更される場合があります。

記憶させた放送局を聞く (プリセット選局)

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。放送局を記憶させるには、27ページをご覧ください。



1 ^{ラジオ} RADIO FM/AM ^{I7IA I-IA} ボタンを押して、
^{I7IA I-IA} FMかAMを選ぶ。

2 ^{チューニング} TUNING+または-ボタンを繰り返
し押して、聞きたい局のプリセット
番号を選ぶ。

放送局名が記憶されていると、その放送局名が
表示されます。



手順2ではリモコンの^{プリセット}PRESET+または-ボタンや数字ボタン
を使って、プリセット番号を選ぶこともできます。
数字ボタンで11~12のプリセット番号を選ぶときは、
>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に
数字ボタンを押します。

例：12を選ぶときは、>10 1 2の順に押します。

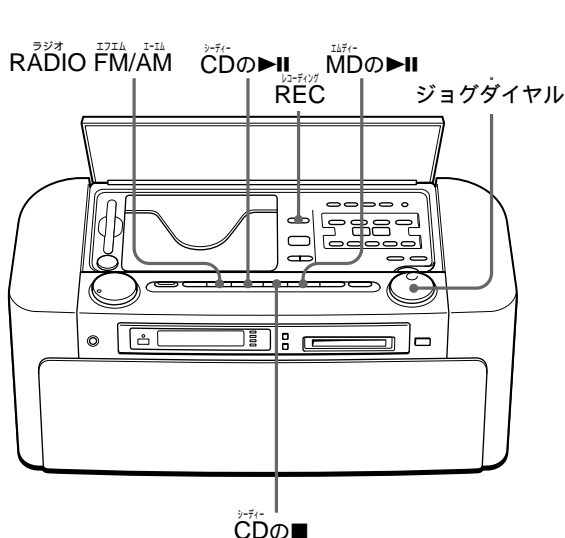
10は0/10ボタンを押します。

ご注意

プリセット選局以外の方法で受信したとき(例えば、ジョグダ
イヤルで選局したときなど)は、放送局名は表示されません。

ラジオ・CDを録音する

ラジオやCDをRECボタンを使って録音します。
好きなところで録音を始めたり止めることができます。
録音を一時停止することもできます。
時計が合わせてあると、録音したときに録音日時が自動的に記録されます(15ページ)。



ラジオを録音する

ラジオの受信状態がよい場合、曲番(頭出しマーク)は、約2秒以上無音や小さな音が続くと自動的に付きます。録音を一時停止したところでも自動的に付きます。

不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(36ページ「曲をつなぐ」参照)。

- 1 新しい^{エムディー}IMDを入れる。
- 2 ^{レコーディング}RECボタンを押す。
まだ録音は始まりません(録音待機状態)。
- 3 録音したい放送局を受信する。
- 4 ^{エムディー}MDの▶▶ボタンを押す。
録音が始まります。

録音を止めるには

^{エムディー}MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには

^{エムディー}MDの▶▶ボタンを押す。

ご注意

- 録音を止めたあと、「^{トック エディット}TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因になることがあります。



- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところで^{レコーディング}RECボタンを押します。
- 録音済みの^{エムディー}MDに録音するには、32ページをご覧ください。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(35ページ)をご覧ください。

(次ページへ続く)

シーディー

CDを録音する

曲番(頭出しマーク)は、CDと同じところに自動的に付きます。また、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。

不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(36ページ「曲をつなぐ」参照)。

1 新しいMDを入れる。

2 RECボタンを押す。

まだ録音は始まりません(録音待機状態)。

3 CDの■ボタンを押して、CDを操作できる状態にする。

4 CDを入れる。

5 MDの▶||ボタンを押す。

録音が始まります。

6 CDの▶||ボタンを押す

CDの再生が始まります。

録音を止めるには

MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには

MDの▶||ボタンを押す。

ご注意

- 録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因になることがあります。



- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでRECボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(35ページ)をご覧ください。

エムディー

録音済みのMDに録音する

2つの方法があります。

- 録音済みの内容を消さずに、ディスクの残り部分に録音する。
- 録音済みの内容を消して、上から録音する。

録音内容を消さずに追加録音するには

録音済みのMDを入れ、ふつうに録音を始めます(20、31、32ページ参照)。自動的に録音済み部分の後ろに録音されます。

残り時間が足りないときは

CDをまるごと録音する場合は、「CD>MD OK?」が表示されます(21ページ)。ラジオやCDを一部録音する場合は、RECボタンを押したあとに残り時間が表示されますので、参考にしてください。

録音内容を消して上書き録音するには

録音内容をすべて消して初めから録音しなおすには、まず、MDの内容をすべて消します(34ページ参照)。そのあとは新しいMDと同じように使えます。

録音内容の途中から、消しながら録音するには

MDを再生し、新しく録音を始めたいところでMDの▶||ボタンを押して一時停止させます。そのあと、録音を始めます(31、32ページ参照)。

ご注意

- 録音内容の途中から録音した場合、新しい録音部分が前の録音部分より短いと、新しい録音部分のあとには、前の録音部分の残りが残ってしまいます。それを繰り返すと細かい残り部分がたくさんできてしまうので、録音内容が不要になったら、MDの内容をすべて消してから(34ページ参照)新たに使うことをおすすめします。
- 録音内容の途中から録音する場合、SYNCHRO REC CD→MDボタンは使えませんので、CDをまるごと録音するときは、左の手順で録音してください。

編集の前にお読みください

MDでは、曲番(頭出しマーク)で曲と曲を区切っています。この曲番によって、曲の頭出しなどがすばやくできます。曲番は、録音の内容に関係なく付けられるので、音楽として1つの曲であっても、途中で曲番を付けることによって複数の「曲」に分けることもでき、逆に、複数の音楽を1つの「曲」としてまとめることもできます。

曲番の付きかたは録音のしかたや録音状況によって異なります

録音方法	曲番が付く場所
CDをまるごと録音する(20ページ)	CDと同じところ
CDをRECボタンで録音する(32ページ)	・CDと同じところ ・録音を一時停止したところ ・録音中、RECボタンを押したところ
ラジオや他の機器から録音する(31、45ページ)	・約2秒以上の無音または小さい音が続いたとき ・録音を一時停止したところ ・録音中、RECボタンを押したところ

曲番は、録音後も、MD編集によって消したり付けたりすることができるので、ラジオや他の機器から録音したときなど、思ったところに曲番が付いていない場合には、直してください。

曲番を正しく直すには

- ・曲番を消すには → 「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(36ページ): 曲番を消すことによって、前後の「曲」が1つの「曲」になります。
- ・曲番を追加するには → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(35ページ): 曲番を追加することによって、1つの「曲」が2つの「曲」に分けられます。

こんなこともできます

- ・「曲」を消す → 「曲を消す(イレース機能)」(33ページ)
- ・ディスクの内容を全部消す → 「曲を消す(イレース機能)」(33ページ)
- ・曲順を入れ変える → 「曲を移動する(ムーブ機能)」(37ページ)
- ・好きなところを頭出しする → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(35ページ)
- ・好きなところをつないでメドレーにする → 「曲を消す(イレース機能)」(33ページ)と「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(36ページ)

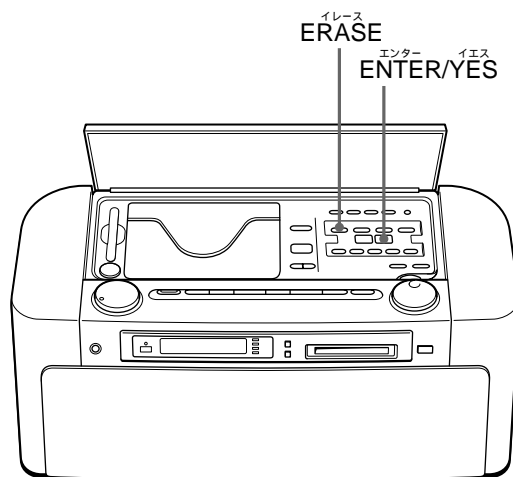
曲を消す

(イレース機能)

録音した曲を瞬時に消したり、曲の中の不要な部分だけを消すことができます。また、カセットテープのように、消した部分が無音のまま残ることもあります。

曲を消す方法には3種類があります。

- ・1曲(ある曲番から次の曲番まで)ずつ消す
- ・1枚のMDのすべての内容を消す
- ・曲中の一部分を消す



ご注意

- ・いったん消すと元に戻せません。もう一度確認してからENTER/YESボタンを押してください。
- ・「TRK PROTECT」が表示されたら、その曲は誤消去防止状態になっています。このときは、本機で消すことができません。誤消去防止状態に設定したMDレコーダーで消してください。
- ・編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。



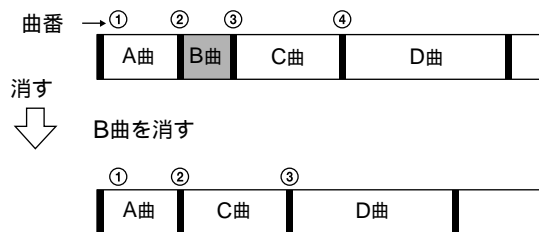
停止中でも、ジョグダイヤルで曲を選び、その曲を消すことができます。

(次ページへ続く)

1曲ずつ消す

曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

例 B曲を消す



1 消したい曲を再生する。

曲が短い場合、MDを再生一時停止にしたあとで、ジョグダイヤルなどで頭出しをすると選べます。

2 ^{イレース}ERASEボタンを押す。

^{イレース オーケー}「Erase OK?」が表示されます。

中止するときは

^{キャンセル}CANCEL/^{ノー}NOボタンまたはMDの^{イディ-}■ボタンを押します。

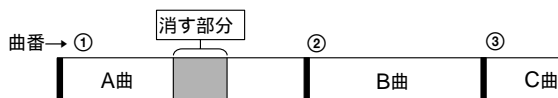
3 ^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

^{コンプリート}「Complete」が数秒間表示され、再生中の曲と曲番が消えます。

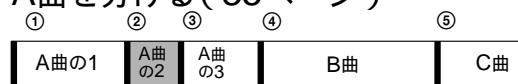
曲中の一部分を消す

「曲を分ける」(35ページ)、「曲を消す」(33ページ)、「曲をつなぐ」(36ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

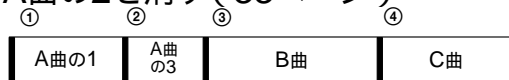
例 A曲の一部分を消す



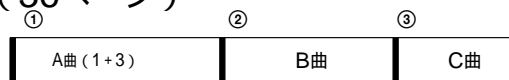
1 A曲を分ける (35ページ)



2 A曲の2を消す (33ページ)



3 A曲の1とA曲の3をつなぐ (36ページ)



1枚のMDのすべての内容を消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいIMDと同じように使えます。いったん消すと、元に戻せないで確認してから行ってください。

1 ^{イレース}停止中、ERASEボタンを押す。

^{オール イレース}「All Erase?」が表示されます。

中止するときは

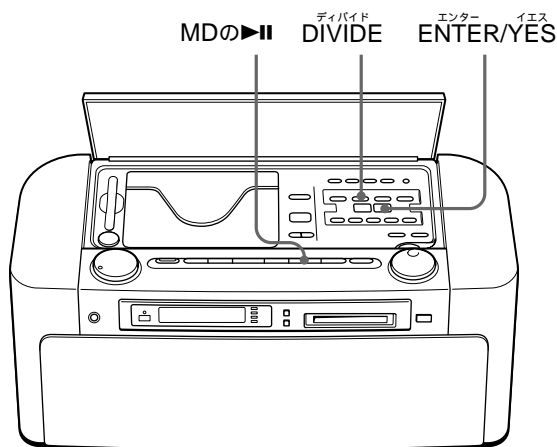
^{キャンセル}CANCEL/^{ノー}NOボタンまたはMDの^{イディ-}■ボタンを押す。

2 ^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

^{トラック}「TOC EDIT」が消えたあと、^{ブランク}「BLANK MD」が点滅し、^{イディ-}入れてあるMDの内容がすべて消えます。

曲を分ける (ディバイド機能)

ラジオなどの録音では、正しく曲番が付かないことがあります。このため、1つの曲番の中に複数の曲が入ることがあります。これをいくつかの曲に分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲番は自動的に連続した曲番が付きます。



例) 1つの曲番(①)にA.B.Cの3曲が入っているとき



1 再生中、曲を分けるところでMDの^{エムディー}▶||ボタンを押す。

再生一時停止状態になります。

2 ^{ディバイド}DIVIDEボタンを押す。

^{ディバイド}「DIVIDE OK?」が表示されます。

中止するときは

^{キャンセル}CANCEL/^{ノー}NOボタンまたはMDの^{エムディー}■ボタンを押します。

3 ^{エンター}ENTER/^{イェス}YESボタンを押す。

^{コンプリート}「Complete」が数秒間表示され、曲が分かれま
す。曲名は、前の曲だけに付きます。



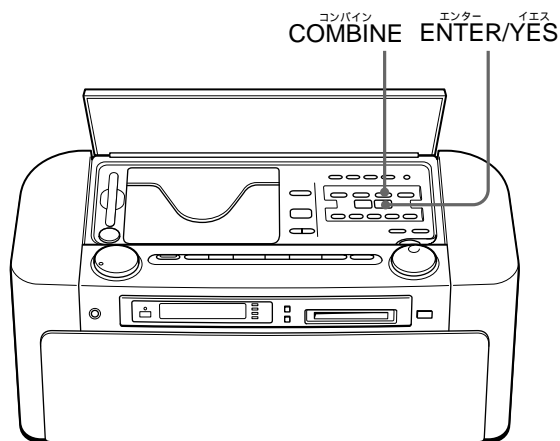
- 一度分けた曲を元に戻すには「曲をつなぐ」(36ページ)をご覧ください。
- 録音中に曲を分けるには
録音中、曲番を付けたいところで^{レコーディング}RECボタンを押します。

ご注意

^{トック}編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

曲をつなぐ (コンバイン機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。何度も停止してコマ切れで録音したものを1つの曲番にまとめたりするときにお使いください。つないだ曲以降の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



(例) B曲とC曲をつなぐ



1 つなぐ曲を再生する。

例えばB曲とC曲をつなぐときは、C曲を再生します。

2 ^{コンバイン} COMBINEボタンを押す。

「COMBINE OK?」が表示され、再生一時停止になります。

中止するときは

^{キャンセル} CANCEL/NOボタンまたはMDの^{エディター} ■ボタンを押します。

3 ^{エンター} ENTER/YESボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示されたあと、曲がつながります。後の曲に付いていた曲名は消えます。



停止中でも、ジョグダイヤルで曲を選び、つなぐことができます。

ご注意

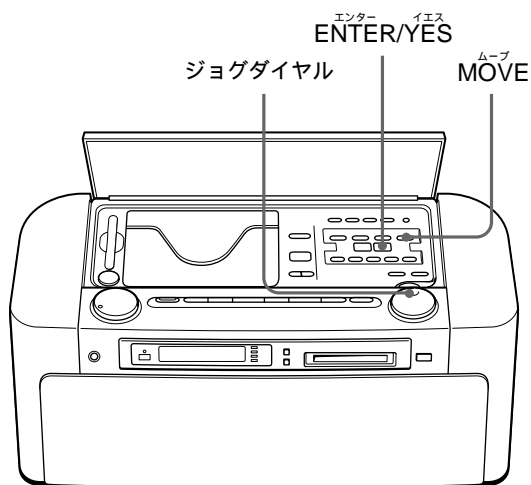
- 「^{エラー} CANNOT EDIT」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。

MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約(48ページ)で、故障ではありません。

- 編集後、「^{トラック} TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

曲を移動する (ムーブ機能)

ある曲を好きな位置に移動する(曲順を変える)ことができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



(例) C曲を1曲目に移動する



- 1 移動させたい曲を再生する。
- 2 ^{ムーブ} MOVEボタンを押す。
例の場合、「^{トラック} Track 003?」が表示されます。
- 3 ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を表示させる。
中止するときは
^{キャンセル} CANCEL/NOボタンまたはMDの^{エディット} ■ボタンを押します。
- 4 ^{エンター} ENTER/YES^{イエス}ボタンを押す。
^{コンプリート} 「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲が移動します。

ご注意

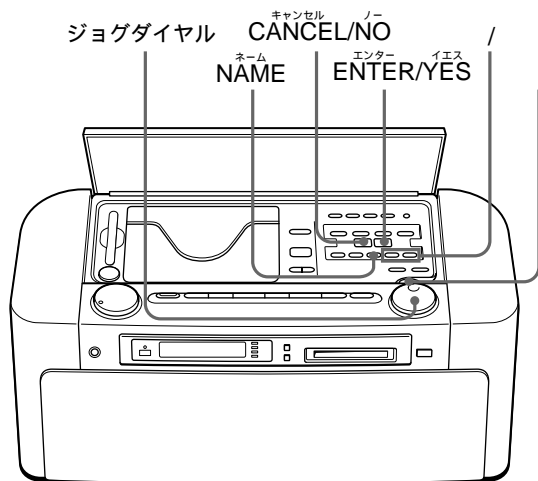
編集後、「^{トラック} TOC EDIT^{エディット}」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。



停止中でもジョグダイヤルで曲を選び、移動することもできます。

ディスク名や曲名を付ける (ネーム機能)

録音した曲の曲名やディスク名をそれぞれ200文字までつけることができます。1枚のディスクには英数字/記号で最大で約1700文字、カナ文字のみで最大で約800文字まで入力できます。



手順2でカタカナを選んでいる場合、**サーチ** SEARCH▶▶ボタンを押すと「アカサタナ...」の順に、**サーチ** SEARCH◀◀ボタンを押すと、「ア ° ッャアワラ...」の順に変えることができます。

ご注意

- 本機では、ひらがなや漢字を入力することはできません。
- 編集後、「**トック エディット** TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

ディスク名を付ける

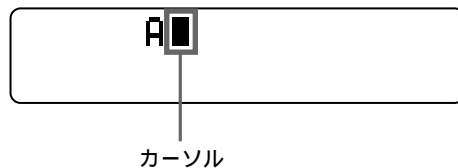
1 停止中、^{ネーム}NAMEボタンを押す。
すでにディスク名が入力されている場合はそのディスク名が表示されます。

2 ^{ネーム}NAMEボタンを繰り返し押して文字の種類を選ぶ。
押すごとにカタカナ 大文字 小文字 記号・数字と変わります。次の文字・数字・記号が使えます。

文字の種類	文字(記号)
カタカナ	アイウエオ.....ヤユヨツ ° ' , / : (スペース)
大文字	ABCD.....WXYZ ' , / : (スペース)
小文字	abcd.....wxyz ' , / : (スペース)
記号・数字	0123456789! " # \$ % & () * . ; < = > ? @ _ ` + - ' , / : (スペース)

3 ジョグダイヤルを左右に回して希望の文字を表示させる。

4 →ボタンを押す。
カーソルが次の文字のところに移動します。



5 手順2～4を繰り返し、希望の名前を付ける。

中止するときは
^{キャンセル}CANCEL/NOボタンまたはMDの^{エディット}■ボタンを押します。

6 名前を付け終わったら^{エンター}ENTER/
^{イエス}YESボタンを押す。
ディスク名が記憶されます。

曲名を付ける

1 曲名を付けたい曲を再生する。

2 ^{ネーム}NAMEボタンを押す。

すでに曲名が入力されている場合はその曲名が表示されます。

3 「ディスク名を付ける」の手順2～6にしたがって入力する。

曲名やディスク名を変更するには
上の手順を行います。



停止中でも、ジョグダイヤルで曲を選び、曲名を付けることができます。

文字を修正するには

- 文字を後ろに追加するとき

① ボタンで最後の文字の右となりまでカーソルを移動する。

② ジョグダイヤルを回して文字を選び、^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

文字を変更するとき

① 変更したい文字までカーソルを移動する。

② ジョグダイヤルを回して文字を選び、^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

- 文字を削除するとき

① 削除したい文字までカーソルを移動する。

② ^{デリート}DELETEボタンを押したあと、^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

^{デリート}DELETEボタンを繰り返し押すと、文字が続けて消えます。

- 文字を挿入するとき

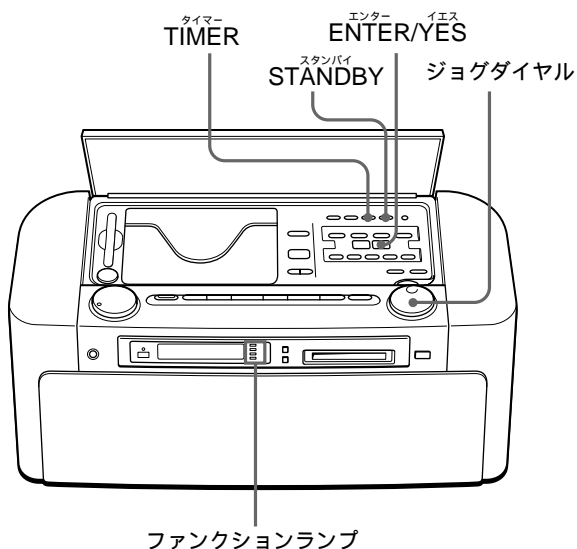
① 挿入したい場所までカーソルを移動する。

② ^{インサート}INSERTボタンを押して挿入スペースを作る。

③ ジョグダイヤルを回して文字を選び、^{エンター}ENTER/^{イエス}YESボタンを押す。

音楽で目覚める

タイマー機能を使って、好きなCDやMD、ラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。
本機の時計合わせをしていないと動作しませんので、まず時計を合わせてください(15ページ参照)。



予約内容を設定する

表示窓に「^{タイマー}TIMER PLAY」か「^{タイマー}TIMER REC」が出ていたら、^{スタンバイ}STANDBYボタンを押して消します。

- 1 ^{タイマー}TIMERボタンを押す。
表示窓に「^{タイマー}TIMER PLAY」または「^{タイマー}TIMER REC」が点滅します。

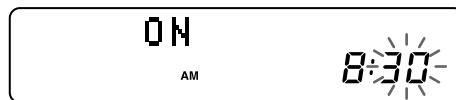


- 2 ^{ジョグダイヤル}ジョグダイヤルを回して「^{タイマー}TIMER PLAY」を表示させ、^{ENTER/YES}ENTER/YESボタンを押す。
^{ファンクションランプ}ファンクションランプ(「^{MD}MD」、「^{CD}CD」、「^{ラジオ}RADIO」または「^{ライン}LINE」)が点滅します。

- 3 ^{ジョグダイヤル}ジョグダイヤルを回して聞きたい音源の^{ファンクションランプ}ファンクションランプを点滅させ、^{ENTER/YES}ENTER/YESボタンを押す。
時刻が点滅します。

- 4 ^{ジョグダイヤル}ジョグダイヤルを回して再生を始める時刻を設定する。

①「時」を設定して^{ENTER/YES}ENTER/YESボタンを押す。



②「分」を設定して^{ENTER/YES}ENTER/YESボタンを押す。

- 5 同じように再生を止める時刻を設定する。

予約設定ができました。
予約待機状態にするには、41ページの操作をしてください。

予約した内容を確認したり、変更するには
タイマー エンター イエス
 TIMERボタンを押してから、ENTER/YESボタンを繰り返して押します。押すたびに予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容をジョグダイヤルで変更します。

ご注意

設定の途中で、タイマー設定に関係のないボタン(CDの■やMDの■など)を押すと、タイマー設定は中止されます。もう一度手順1からやり直してください。



- キャンセル ノー
CANCEL/NOボタンを押すと、ひとつ前の手順に戻ります。間違えたときは、そこでやり直してください。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。

予約待機状態にする

1 設定した音源の準備をする。

音源	準備
<small>CD</small> CD	聞きたい <small>CD</small> を入れる。
<small>MD</small> MD	聞きたい <small>MD</small> を入れる。
<small>ラジオ</small> RADIO (ラジオ)	聞きたい局を受信する。
<small>ライン</small> LINE <small>ライン イン</small> (LINE INジャック につないだ機器)	つないだ機器がその時間に動作するようにしておく。

2 ボリューム VOLUMEつまみを回して音量を調節する。

3 スタンバイ STANDBYボタンを押す。

「TIMER PLAY」が表示され、予約待機状態になります。設定した時刻になると、①が点灯し自動的に再生が始まります。終了時刻になると①が消えて電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

この状態で毎日タイマーが働きます。ただし、音源が正しく準備されているかご確認ください。

予約待機状態をやめるには

スタンバイ タイマー プレイ
STANDBYボタンを押して、「TIMER PLAY」を消します。

予約待機状態にした後に本機を使いたくなったら

パワー
POWERボタンを押して電源を入れ、ふつうに使います。使い終わったら、必ずPOWERボタンを押して電源を切ってください。再び予約待機状態になります。なお、このときラジオの放送局を変えてしまうと、その放送局が予約されますので、ご注意ください。

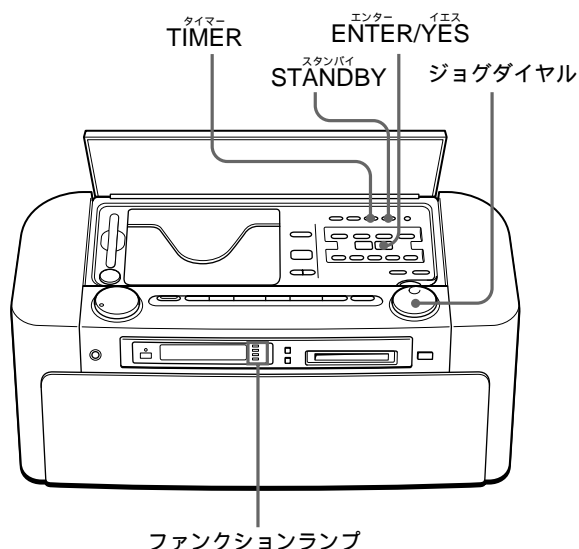
タイマー再生を途中で止めるには

パワー
POWERボタンを押して電源を切ります。

留守中にラジオを録音する

留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。

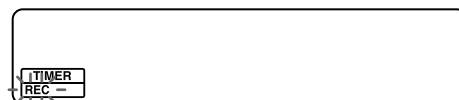
本機の時計合わせをしていないと動作しませんので、まず時計を合わせてください(15ページ参照)。



予約内容を設定する

表示窓に「^{タイマー}TIMER PLAY」か「^{タイマー}TIMER REC」が出ていたら、^{スタンバイ}STANDBYボタンを押して消します。

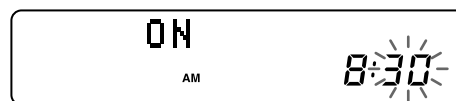
- 1 ^{タイマー}TIMERボタンを押す。
「^{タイマー}TIMER PLAY」または「^{タイマー}TIMER REC」が点滅します。



- 2 ジョグダイヤルを回して「^{タイマー}TIMER REC」を表示させ、^{エンター}ENTER/YESボタンを押す。
ファンクションランプ(「^{ラジオ}RADIO」または「^{ライン}LINE」)が点滅します。

- 3 ジョグダイヤルを回して「^{ラジオ}RADIO」のファンクションランプを点滅させ、^{エンター}ENTER/YESボタンを押す。
時刻が点滅します。

- 4 ジョグダイヤルを回して録音を始める時刻を設定する。
①「時」を設定して^{エンター}ENTER/YESボタンを押す。



- ②「分」を設定して^{エンター}ENTER/YESボタンを押す。

- 5 同じように録音を止める時刻を設定する。
予約設定ができました。
予約待機状態にするには、43ページの操作をしてください。

予約した内容を確認したり、変更するには
タイマー TIMERボタンを押してから、エンター イエス ENTER/YESボタンをくり返し押します。押すたびに予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容をジョグダイヤルで変更します。

ご注意

設定の途中で、タイマー設定に関係のないボタン(ジョグ CDの■やエムディー MDの■など)を押すと、タイマー設定は中止されます。もう一度手順1からやり直してください。



- キャンセル CANCEL/ノー NOボタンを押すと、ひとつ前の手順に戻ります。間違えたときは、そこでやり直してください。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。

予約待機状態にする

1 エムディー 録音したい放送局を受信し、録音用MDを入れる。

エムディー 録音用MDは、あらかじめ録音可能時間を確認してください。

2 ボリューム VOLUMEつまみを回して音量を調節する。

深夜に録音するときなどは、音量を下げていることをおすすめします。録音される音量には影響ありません。

3 スタンバイ STANDBYボタンを押す。

タイマー レコーディング 「TIMER REC」が表示され、予約待機状態になります。設定した時刻になると④が点灯し自動的に録音が始まります。終了時刻になると④が消えて電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

この状態で毎日タイマーが働きます。ただし、ラジオの放送局などが正しく設定されているかご注意ください。

予約待機状態をやめるには

スタンバイ STANDBYボタンを押して、タイマー レコーディング 「TIMER REC」を消します。

予約待機状態にした後に本機を使いたくなったら

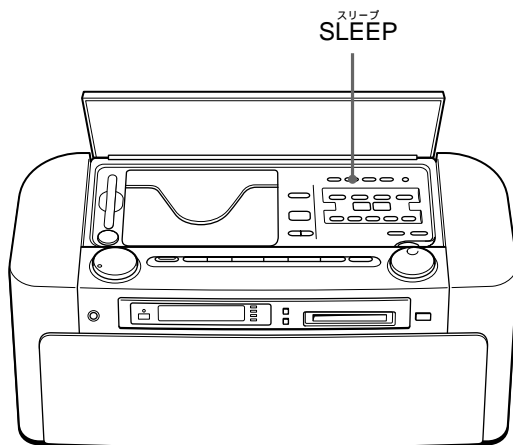
パワー POWERボタンを押して電源を入れ、ふつうに使います。使い終わったら、必ずPOWERボタンを押して電源を切ってください。再び予約待機状態になります。なお、このときラジオの放送局を変えてしまうと、その放送局が予約されますので、ご注意ください。

タイマー録音を途中で止めるには

パワー POWERボタンを押して電源を切ります。

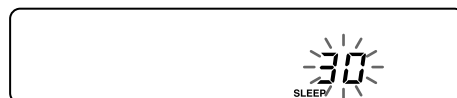
音楽を聞きながら眠る (スリープ機能)

設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分から120分まで10分単位で設定できます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 ^{スリープ}SLEEPボタンを押す。



「^{スリープ}SLEEP」とスリープ時間(分)が表示されます。スリープ時間を変えるときは、^{スリープ}SLEEPボタンを繰り返し押してください。約10秒たつと表示窓が暗くなってスリープ状態になります。

スリープの残り時間を確認するには
^{スリープ}SLEEPボタンを1回押します。

スリープ時間を変更するには
手順2からやり直してください。

スリープ機能をやめて音楽を聞きつづけるときは
^{スリープ}SLEEPボタンを押したあと^{キャンセル}CANCEL/^{ノー}NOボタンを押すか、「^{スリープ}SLEEP」が消えるまで^{スリープ}SLEEPボタンを繰り返し押します。

スリープ機能をやめて今すぐ電源を切るには
^{パワー}POWERボタンを押します。



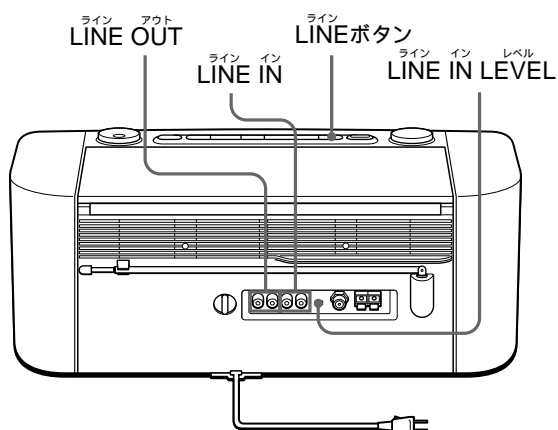
- タイマー機能とスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先にタイマーを予約待機状態にしてから(41ページ参照)電源を入れスリープ機能を働かせます。
- タイマー機能とスリープ機能で違う音源(^{MD}MD、^{CD}CD、^{ラジオ}RADIO、^{ライン}LINE)を選ぶことができます。ただし、ラジオの放送局を変えると、その放送局が受信されるので、ご注意ください。
- 手順2で^{スリープ}SLEEPボタンを押すと、前回設定したスリープ時間から始まります。
- 手順2で^{スリープ}SLEEPボタンを押したあと^{キャンセル}CANCEL/^{ノー}NO以外のボタンを押すと、すぐにスリープ状態になり、表示窓が暗くなります。

他の機器をつないで使う

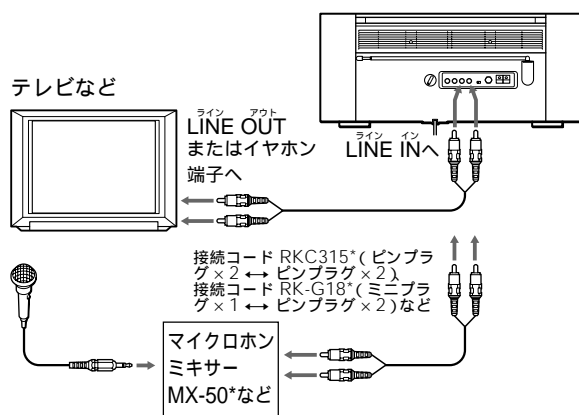
本機にテレビなどをつないでその音を本機で聞いたり、ラジカセなどをつないでカセットに録音したりすることができます。

他の機器を接続するときは、次のことにご注意ください。

- 接続する前にPOWERスイッチを押して電源を切ります。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。



テレビやビデオの音を聞く



- 1 上の図のようにテレビなどをつなぐ。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 ラインボタンを押して「LINE」表示を出す。
ラインランプが点灯します。
- 4 テレビなどの電源を入れ、本機の音量を調節する。

* ソニー製品の場合の型名です。接続する機器の端子に合ったものをお求めください。

つないだ機器の音を録音するには

- 1 録音用MDを入れる。
- 2 本体上面のラインボタンを押して「LINE」を表示させる。
- 3 RECボタンを押す。
まだ録音は始まりません。
- 4 MDの▶||を押す。
録音が始まります。
- 5 ラインインにつないだ機器の音を出す。

ご注意

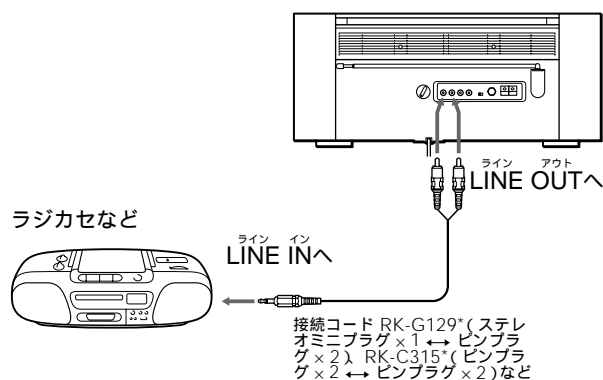
CDを聞くときと比べてつないだ機器の音が大きすぎる場合は、本機裏面のラインインレベルスイッチをローに合わせてください。通常はHIGHに合わせておきます。



録音中、約2秒以上無音や小さな音が続くと、曲番(頭出しマーク)が自動的に付きます。

(次ページへ続く)

本機の音をカセットに録音するには



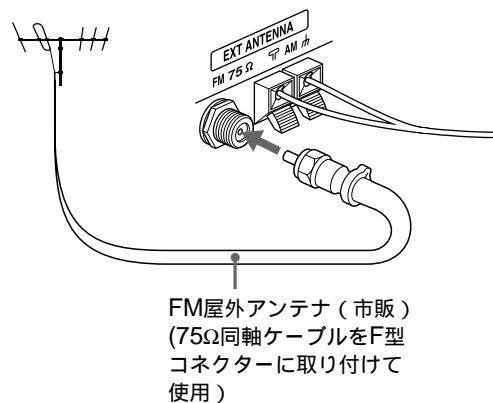
- 1 ラジカセなどに録音用カセットを入れる。
- 2 ラジカセなどのRECボタンを押す。
- 3 本機の演奏を始める。

* ソニー製品の場合の型名です。接続する機器の端子に合ったものをお求めください。

市販のアンテナをつなぐ

FM放送の受信状態を良くするには

FM屋外アンテナ(市販)をつなぎます。分配器を使えば、テレビアンテナでも代用できます。



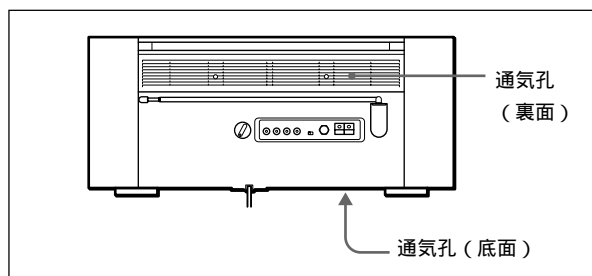
使用上のご注意

置き場所について

本機やMD、CD等を次のような場所には置かないでください。故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近く
- ・窓を閉めきった自動車内(特に夏期)
- ・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- ・ほこりの多いところ
- ・テレビの近く
- ・風呂場など、湿気の多いところ
- ・ふとんやクッションなどやわらかいものの上

通気孔(裏面及び底面)は絶対にふさがないようにください。火災や事故、故障の原因になります。



取り扱いについて

- ・CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- ・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
 - 時計
 - クレジットカードなどの磁気カード
 - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、CDプレーヤー内部のレンズに露(水滴)がつき、正しく動作しないときがあります。ディスクを取り出して、CDぶたを開けたまま約1時間ほど放置してください。正常に動作するようになります。もし、数時間たっても正常に動作しない場合は、お買い求め先またはSME・ファミリーズセブリティにご相談窓口にご連絡ください。

通常は、CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。

異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすい物や金属類を落としたりしないでください。そのまま使用すると火災や感電、故障、事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときには、すぐに電源を切り、お買い求め先またはSME・ファミリーズセブリティご相談窓口にご連絡ください。

電源について

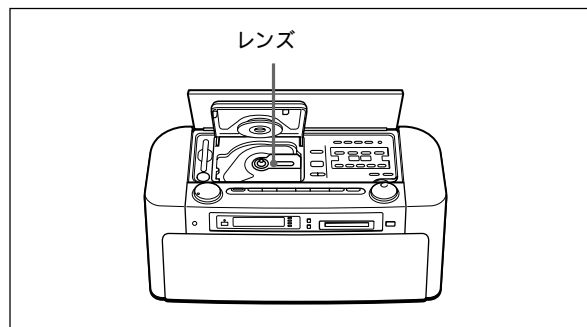
- ・AC100V(家庭用電源)でのみ動作します。
- ・電源コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。また、ふたの周辺をお手入れするときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズに触れてしまったり、レンズの汚れが原因で音とびがおきたり、演奏できなくなった場合は、「ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。



CDの取り扱い

- ・文字の書かれていない面に触れないように持ちます。
- ・紙などを張ったり、傷つけたりしないでください。



- ・長時間使用しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。

CDのお手入れのしかた

- ・指紋やほこりによるCDの汚れは、音とびや演奏不能の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ・ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



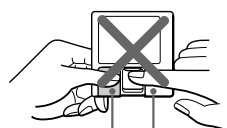
- ・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ・ペンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。



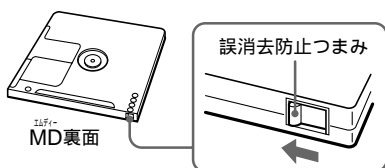
シャッター カートリッジ

MDのお手入れのしかた

定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

録音内容を間違えて消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。再び録音するときは、つまみを元に戻します。



エムディー

MDのシステム上の制約について

エムディー

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「^{トラック}TRACK FULL」が表示される。

254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「^{トラック}TRACK FULL」が表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り(1曲)と同じ扱いになり254曲になると、録音できなくなります。

さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない場合がある。

通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大6秒短くなります。

編集した曲を再生、または再生しながら早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタルオーディオとは、音声信号を数値(デジタル)でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)などがこれにあたります。

これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。

本機的设计はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト(アナログレコードやミュージックカセットテープ)や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

注

MDプレーヤーのアナログ入出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

症状	チェック項目
共通	音が出ない。
	<ul style="list-style-type: none"> POWERボタンを押して電源を入れる。 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 ファンクションモードが違っている。CD、MD、RADIO、LINEの中から操作に合ったボタンを押す。 音量を調節する。 スピーカーで聞くときは、ヘッドホン^{ホーンズ}をPHONESジャックから抜く。 「CD TOC Read」または「MD TOC Read」が消えるまで待つ。
	テレビに色むらが起こる。
C D 部	電源を入れると直後に「カチ」と音がする。
	再生が始まらない。
	CDが入っているのに「NO CD」が表示される。
C D 部	音がとぶ。
	再生できない。
	MDが途中で取り出せない。
M D 部	「DISC ERROR」が表示され、操作を受け付けられない。
	再生できない。
	録音できない。

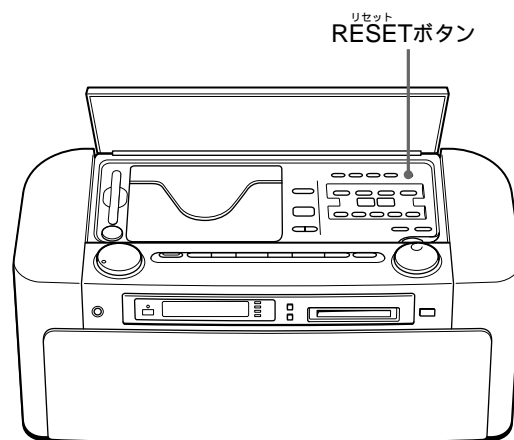
症状	チェック項目
M D 部	音がとぶ、とぎれる。
	<ul style="list-style-type: none"> 録音時の音量が大きかったため、CDまたはMDが音とびした。 音量を下げて録音する。 MDのシステム上の制約による。(49ページ) MDが汚れているか損傷している。新しいMDと取り替えて録音する。
ラ ジ オ 部	1枚のMDのすべての内容が消せない。
	<ul style="list-style-type: none"> 停止中にジョグダイヤルを回したため、曲が選ばれてしまい、1曲消去になった。MDの■を押して停止させ、消去しなおす。('All Erase?'が表示されているか確認してください。)
	ステレオにならない。
	<ul style="list-style-type: none"> 本体上面のMONO/STEREOボタンを押して、「STEREO」を表示させる。(18ページ) ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。
	雑音が入る。
ラ ジ オ 部	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。FMロッドアンテナの向きを変えても雑音が減らないときは、外部アンテナ(市販)を取り付けてください。 テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 AMループアンテナを本体の近くに置いて使うと雑音が入ることがあります。特に録音のときに入りやすいので、アンテナを本体から離してください。
	AMが受信できない。
	<ul style="list-style-type: none"> AMループアンテナを接続し、受信状態のよい方向へ向ける。(13ページ)
	放送局名が表示されない。
タ イ マ ー (時 計) 部	<ul style="list-style-type: none"> 放送局が記憶されていない。(27ページ) 放送局名を消してある。(27、28ページ) プリセット選局(30ページ)以外の方法で受信した。
	タイマー設定ができない。
タ イ マ ー (時 計) 部	タイマーが働かない。
	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていない(15ページ) 時計を正しい時刻に合わせる。(15ページ) 停電があった。 タイマー設定されていない。「TIMER REC」または「TIMER PLAY」表示が出ていることを確認する。 タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。設定時刻を合わせ直す。

(次ページへ続く)

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。 リモコン	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(12ページ) • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、一度電源コードをコンセントから抜いて、約20秒後に再度差し込んでください。それでも正常でないときは、上ぶたの中にある^{リセット}RESETボタンを先のとがったもので押してください(時計やタイマー、ラジオのプリセットがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください)。それでもまだ正しく動かないときは、お買い求め先またはSME・ファミリーズセレクトにご相談窓口にご連絡ください。



メッセージ一覧

MDやCDを使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

メッセージ	意味
ブランク MD BLANK MD	何も録音されていない録音用MDが入っている。
キャノット エディット CANNOT EDIT	<ul style="list-style-type: none"> MDの1曲目でコンバイン機能を使おうとした。 つなぐことができない曲をつなごうとした。(例：ステレオ録音された曲とモノラル録音された曲をつなごうとした。)
ディスク エラー DISC ERROR	MDが損傷している、壊れている。
ディスク フル DISC FULL	MDの残り時間が少ない(12秒以下)ため、録音できない。
エラー ストップ ERROR STOP	<ul style="list-style-type: none"> 録音に異常があつて停止した。 録音や編集の内容がうまく読めないディスクが入っている。
メモリ オーバー MEM OVER	録音を始めてその準備が間に合わないときに表示される。曲の最初の部分が録音されていないことがある。
ネーム フル NAME FULL	曲名やディスク名を200文字を越えて入力しようとした。1枚のディスク上の文字が約1700文字を越えた。
ノー シーディー NO CD	CDが入っていない。
ノー MD NO MD	MDが入っていない。
プレイバック エムディー PB MD	再生専用ディスクが入っている。
プロテクト PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。
テンペラチャー オーバー TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。
トラック フル TRACK FULL	録音済みや編集された曲数がいっぱい(254曲)で、これ以上の録音や編集ができない。 「MDのシステム上の制約について」(48ページ)
トラック プロテクト TRK PROTECT	他のMDプレーヤーでトラックプロテクト(曲の誤消去、編集防止機能)をかけた曲を録音や編集しようとした。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな?と思ったら」(50ページ)の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときは

お買い求め先またはSME・ファミリーズセレブリティご相談窓口にご相談のうえ、指示にしたがって、添付の「ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

SME・ファミリーズでは、本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い求め先またはSME・ファミリーズセレブリティご相談窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は経済産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: MD-7000
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 購入年月日:

主な仕様

CD部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
ディスク読み取り方式	コンパクトディスク 非接触光学式読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	GaAlAsダブルヘテロダイオード $\lambda=780\text{nm}$ 約200~500rpm
回転数	2チャンネル
チャンネル数	測定限界以下(JEITA*)
ワウ・フラッター	20~20,000Hz+1dB/-2dB(JEITA)
周波数特性	44.1kHz
サンプリング周波数	

ラジオ部

FM/AMシンセサイザーチューナー	各バンド12局オートプリセット
受信周波数	FM: 76~90MHz AM: 531~1,629kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ 外部アンテナ端子 (75 Ω F型コネクター)
	AM: ループアンテナ (外部アンテナ端子使用)

MD部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	GaAlAsダブルヘテロダイオード $\lambda=780\text{nm}$ 約400rpm~900rpm
回転数	ステレオ2チャンネル
チャンネル数	測定限界以下(JEITA)
ワウ・フラッター	20~20,000Hz+1/-2dB
周波数特性	44.1kHz
サンプリング周波数	アダプティブ
コーディング	トランスフォーム アコースティックコーディング(ATRAC)

その他

スピーカー	フルレンジ: 6.5cm、コーン型 4 Ω 、2個 スーパーウーファー: 10cm、コーン型、4 Ω 、1個
入力端子	LINE IN(ピンジャック) 0.43Vrms、0.87Vrms 入力インピーダンス 47k Ω
出力端子	LINE OUT(ピンジャック) 0.63Vrms 負荷インピーダンス 10k Ω 時 PHONES(ステレオ標準ジャック) 負荷インピーダンス 16~68 Ω
実用最大出力	5W+5W(JEITA/4 Ω) 低域ブースト用 15W(100Hz、JEITA/4 Ω)
電源	本体用: 家庭用電源(AC100V 50/60Hz) リモコン用: リチウム電池(CR2025) 1個(JEITA)
消費電力	50W

最大外形寸法	約510 x 223 x 260mm (幅×高さ×奥行き)(最大突起部を含む)
質量	(JEITA) 約13kg(付属品含まず)
付属品	リモートコマンダー(1) リチウム電池 CR2025(1) (リモートコマンダーに装着済み) AMJループアンテナ(1) 取扱説明書(1) 早わかりカード(1) ご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売りアクセサリ**

ステレオヘッドホン

MDR-CD380、MDR-D66SL

MDR-IF630RK

クリーニングキット

CDM-GM3K

録音用MD(生ディスク)

ソニー製80分用/74分用/60分用

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

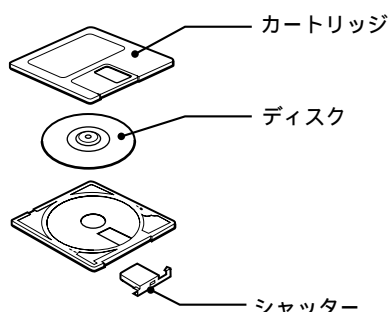
**ソニー製品の場合の型名です。

ミニディスク (MD) とは？

構造

直径64mmのディスクを68×72mm、厚さ5mmのカートリッジに収め、コンパクトな上に傷などを気にしなくてすむ手軽さを実現しています。

MDの構造



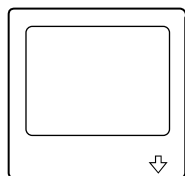
ディスクの種類

MDには、再生専用のものと録音できるものと2種類あります。

再生専用MD

再生のみが可能なディスクで、市販のMDソフトはこのタイプです。CDと同様、ピット(小さなくぼみ)の有無で音楽データが記録されており、光学ピックアップで読み取って再生します。

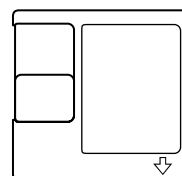
再生専用



録音用MD

録音もできるいわゆる「生ディスク」です。光磁気 (MO : Magneto-Optical) ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録する磁界変調光学方式を採用しています。

録音用



特長

長時間録音

新開発の音声圧縮技術「ATRAC : Adaptive Transform Coding」を採用。このサイズでCDと同じ時間の録音を可能にしました。聴覚心理学に基づいて人の耳には聴こえない音をカットし、音楽データを約1/5に圧縮します。

素早い選曲、編集

CDと同様、ディスクならではの選曲性のよさに加え、音楽以外に曲番、演奏時間などのデータを同時に記録することにより、録音用ミニディスクでの瞬時の編集を可能にしました。

耐震性が向上

新開発の耐震技術「音とびガードメモリー」を採用。これにより従来の光・光磁気ディスクの「振動に弱く音とびしやすい」という弱点を改善しています。

索引

五十音順

ア行

頭出し

CD 17, 25

MD 23

イレース機能 33

エラーメッセージ 53

オートプリセット 27

お手入れ 47

カ行

繰り返し聞く 26

コンバイン機能 36

サ行

サーチ 25

再生時間を調べる

CD 24

MD 24

再生する

CD 16

MD 22

重低音 10

自動選局 19

シリアルコピーマネージメントシス

テム 49

シンクロ録音 20

接続

アンテナ 46

電源コード 13

他の機器 45

選曲 25

タ、ナ行

タイマー

スリープ 44

目覚まし 40

留守録 42

調節する

音量 17

重低音 10

ディバイド機能 35

電源 13

時計を合わせる 15

ネーム機能 38

ハ行

表示窓

CD 24

MD 24

プリセット選局 27

放送局を記憶させる 27

編集

曲名を付ける 38

曲を移動する 37

曲を消す 33

曲をつなぐ 36

曲を分ける 35

ディスク名を付ける 38

マ、ヤ行

マニュアル選局 18

ミニディスク 56

ムーブ機能 37

ラ行

ラジオ 18、27、42

リピート再生 26

録音

CD 20、32

接続した機器 45

ラジオ 31、42

アルファベット順

アトラック 56

ATRAC 56

CDの取り扱い 47

コンバイン 36

COMBINE機能 36

ディバイド 35

DIVIDE機能 35

イレース 33

ERASE機能 33

MDの取り扱い 48

MDの編集 33~39

ムーブ 37

MOVE機能 37

ネーム 38

NAME機能 38

Operating Instructions

► Introduction

Features

You can enjoy playing MDs and CDs, and listening to the radio using this MD-CD New Stereo "CELEBRITY IL."

- Powerful bass-boosted sound — You can enjoy a powerful bass-boosted sound through the super woofers.
- Playing an MD or CD — You can enjoy the following play modes as well as basic operations:
 - You can repeat all the tracks or only a single track (REPEAT or REPEAT 1).
 - You can repeat the tracks in random order (REPEAT SHUFFLE).
- Listening to the radio
 - You can enjoy AM stereo programs with vivid stereo sound.
 - You can preset up to 24 stations, 12 each for FM and AM.
- Recording on an MD
 - You can record all CD tracks on an MD by pressing the SYNCHRO REC CD → MD button.
 - You can easily record the sound from the radio and the equipment connected to this player by pressing the REC button.
- Editing recordings on an MD
You can label recordings, move recorded tracks or erase the unnecessary tracks, etc.

Parts identification

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 8 to 12)

Front panel

- 1 POWER switch and indicator
- 2 LINE button
- 3 RADIO FM/AM button
- 4 CD operation buttons
▶|| button and indicator
■ button
- 5 MD operation buttons
▶|| button and indicator
■ button
- 6 OPEN/CLOSE button
Press to open or close the electric-driven lid of the player.
- 7 Jog dial: AMS*/TUNING/TIME/NAME ADJUST control
This control is called "jog dial" in this operation manual.
*AMS = Automatic Music Sensor

- 8 MD EJECT button
- 9 Speaker
- 10 MD compartment
- 11 DISPLAY button
- 12 PLAY MODE button
- 13 FUNCTION (MD, CD, RADIO and LINE) indicators
- 14 Display window
- 15 Remote sensor
- 16 PHONES (headphones) jack (stereo phone jack)
- 17 VOLUME control and indicator

Inside of the player's lid

- 18 CD OPEN button
- 19 Remote control holder
Insert the remote control lengthwise. If you stand it upright, you cannot close the lid of the player.
- 20 The lid of the CD compartment
- 21 SYNCHRO REC CD → MD button
- 22 REC button
- 23 CLOCK button
- 24 SLEEP button
- 25 TIMER button
- 26 STANDBY button
- 27 RESET button
- 28 ERASE button
- 29 DIVIDE button
- 30 COMBINE button
- 31 MOVE button
- 32 ENTER/YES button, CANCEL/NO button
- 33 MONO/STEREO button
- 34 ⇄ button
This button has the same function as the ⇄ button of 36 ⇄/⇄ buttons.
- 35 PRESET (AUTO/MANUAL) button
- 36 ⇄/⇄ buttons
- 37 NAME button
- 38 INSERT button
- 39 DELETE button
- 40 SEARCH ◀◀/▶▶•TUNING +/- button
- 41 CD compartment lighting

Rear panel

- 42 FM telescopic antenna
- 43 AC power cord
- 44 BASS VOL (volume) control
To adjust the volume of the lower bass sound (less than about 100 Hz)
To decrease the bass volume, turn counterclockwise.
To increase the bass volume, turn clockwise.
- 45 LINE OUT (analog output) jack
- 46 LINE IN (analog input) jack
- 47 LINE IN LEVEL switch
Use to adjust the volume of equipment connected to the LINE IN jack.
When the volume is too high, set it to "LOW".
When the volume is too low, set it to "HIGH".
- 48 FM EXTERNAL ANTENNA jack
- 49 AM EXTERNAL ANTENNA jack
Connect the supplied AM loop antenna to this jack.

Display window

- 1 TOC EDIT indication
- 2 STEREO/MONO indication
- 3 Play mode indication (MD, CD)
- 4 Dot indication part
Information using characters is displayed on this part.
- 5 Frequency indication
- 6 REC DATE (recording date) indication
REC REMAIN (remaining time for recording) indication
REMAIN (remaining time for playing) indication
- 7 SLEEP indication
- 8 CD/MD mode: Playing time (minute/second) indication
Radio mode: Frequency indication
Clock mode: Current time (hour/minute) indication
- 9 CD/MD mode: TRACK indication
- 10 Radio mode: FM/AM indication
Clock mode: AM/PM indication
- 11 AUTO PRESET and PRESET indication
- 12 Preset number indication
- 13 ⊕ (timer mode) indication
- 14 TIMER REC (recording)/TIMER PLAY indication

Remote control

- 1 MD operation buttons
▶|| button
■ button
- 2 CD operation buttons
▶|| button
■ button
- 3 PRESET +/-•◀◀/▶▶ buttons
You can use these buttons for presetting radio stations automatically.
- 4 RADIO FM/AM button
- 5 Number buttons
- 6 Command emitter
Point toward the remote sensor of the player.
- 7 OPEN/CLOSE (for the player's lid) button
- 8 POWER switch
- 9 PLAY MODE button
- 10 SLEEP button
- 11 VOLUME buttons

►Setting up

Connecting AM loop antenna and AC power cord

See the illustrations in the Japanese text (page 13.)

- 1 Set up the AM loop antenna (supplied) and connect it to the player.
- 2 Connect the AC power cord to the wall outlet securely.
- 3 Press the POWER switch to turn the player on.
The POWER indicator, one of the FUNCTION indicators and the indicator of the VOLUME control light up.

Opening/closing the lid of the player

See the illustrations in the Japanese text (page 14.)

- 1 Press OPEN/CLOSE.

To close the lid of the player
Press OPEN/CLOSE.

If the lid of the CD compartment is open

When you press OPEN/CLOSE, the lid of the CD compartment will close automatically as well as the lid of the player.

Setting the clock

See the illustrations in the Japanese text (page 15.)

- 1 Hold down CLOCK until the year digits flash in the display.
- 2 Turn the jog dial to select the current year.
- 3 Press ENTER/YES so that the year is set.
The month digit flashes in the display.
- 4 Repeat the steps 2 and 3 to set the month, day, hour and minute.
When you set the minute and press ENTER/YES, the digits stop flashing and the clock starts from 00 seconds.

To display the time

Press CLOCK. To go back to the previous display, press CLOCK again. As long as the power is turned off, the time indication is displayed.

►Basic Operations

Playing a CD

See the illustrations in the Japanese text (pages 16 to 17.)

- 1 Press ■ on the CD section to activate the CD player.
- 2 Place the CD.
 - ① Press OPEN/CLOSE to open the lid of the player.
 - ② Press CD OPEN to open the lid of the CD compartment.
 - ③ Place the CD properly with the label side (character-printed side) up.
 - ④ Close the lid of the CD compartment.
The total track number and the total playing time appear in the display.
- 3 Press ►|| on the CD section.
The player starts play.

To	Do this (operation on the remote control)
Adjust the volume	Turn VOLUME. (Press VOLUME +/-.)
Stop playback	Press ■ on the CD section.
Pause play	Press ► on the CD section. Press again to resume play.
Go back to the beginning of the current track	Turn the jog dial counterclockwise. (Press ◀◀.)
Go back to the previous track	Turn the jog dial counterclockwise (Press ◀◀.)
Go to the next track	Turn the jog dial clockwise. (Press ▶▶.)
Remove the CD	Press CD OPEN.
Turn on/off the player	Press POWER.

Notes on handling CDs

- To keep the CD clean, handle it by its edge. Do not touch the surface.
- Do not stick paper or tape onto the CD.
- Do not expose the CD to direct sunlight or heat sources such as hot air ducts. Do not leave the CD in a car parked under direct sunlight.

Listening to the radio

See the illustrations in the Japanese text (pages 18 to 19.)

- 1 Press RADIO FM/AM to select FM or AM.
The player turns on, and "FM" or "AM" appears in the display. To change the band, press the button again.

- 2 Turn the jog dial to tune in a station you want.

To	Do this (operation on the remote control)
Adjust the volume	Turn VOLUME. (Press VOLUME +/-.)
Turn on/off the player	Press POWER.

To tune in a station automatically (Automatic Tuning)

Hold down TUNING +/- (PRESET +/- on the remote control) until the frequency digits begin to change in the display.

The player automatically scans the radio frequencies and stops when it finds a clear station.

To improve broadcast reception

For FM:

Reorient the antenna. If the broadcast is still noisy, connect the FM external antenna.

For AM:

Keep the AM loop antenna as far as possible from the player and reorient it.

Recording a whole CD

See the illustrations in the Japanese text (pages 20 to 21.)

- 1 Insert a new MD with the label side (printed side) up.
The player turns on.
- 2 Press CD OPEN to open the lid of the CD compartment, and place the CD.
- 3 Press SYNCHRO REC CD → MD.
The player starts recording automatically.

To	Do this
Stop recording	■ of the MD section.
Turn on/off the player	Press POWER.

If "CD>MD OK?" alternates with time display

There is not enough space on the MD to record the whole CD.

If it is all right to record as much as possible and cancel recording of some tracks, press SYNCHRO REC CD → MD again. To stop recording, press ■.

Notes on MDs

- Do not open the shutter to expose the MD. Close the shutter immediately if the shutter opens.
- Wipe the MD cartridge with a dry cloth to remove dirt.

Playing an MD

See the illustrations in the Japanese text (page 22.)

- 1 Insert the MD with the label side up.
The player turns on.
- 2 Press ►|| on the MD section.
The player starts play.

To	Do this (operation on the remote control)
Adjust the volume	Turn VOLUME. (Press VOLUME +/-.)
Stop playback	Press ■ on the MD section.
Pause play	Press ► on the MD section. Press again to resume play.
Go back to the beginning of the current track	Turn the jog dial counterclockwise. (Press I◀◀.)
Go back to the previous track	Turn the jog dial counterclockwise. (Press I◀◀.)
Go to the next track	Turn the jog dial clockwise. (Press ►►I.)
Remove the MD	Press MD EJECT.
Turn on/off the player	Press POWER.

►The CD Player • The MD Player

Using the display

See the illustrations in the Japanese text (page 24.)

You can check information about the CD and MD using the display.

During stop (CD):
The total track number and playing time are displayed.

During play (CD):
The current track number and playing time are displayed.
To check the remaining time, press DISPLAY while playing a CD.

During stop (MD):
The total track number, playing time and the disc title* are displayed.

During play (MD):
The current track number, playing time and the title of the current track* are displayed.
To check the remaining time, recording date, etc. , press DISPLAY.

*Displayed only with MDs that have been electronically labeled.

Locating a specific track (Direct/Search Play)

See the illustrations in the Japanese text (page 25.)

You can quickly locate any track using the number buttons. You can also find a specific point in a track while playing a CD.

To	Press (buttons on the remote control)
a specific track directly	a number button of the track.
a point while listening to the sound	►►I (forward) or I◀◀ (backward) while playing and hold down until you find the point. As soon as you release the button, the player starts play. On the player, use SEARCH ►►I or I◀◀.
a point quickly without listening to the sound	►►I (forward) or I◀◀ (backward) in pause and hold down until you find the point. As soon as you release the button, the player pauses at the point. On the player, use SEARCH ►►I or I◀◀.



- When you locate a track numbered over 10, press > 10 first, then the corresponding number buttons.

Example:

To play track number 23, press > 10 first, then 2 and 3.

- When you locate a track numbered over 100 on an MD, press > 10 twice, then the corresponding number buttons.

Playing tracks repeatedly (Repeat Play)

See the illustrations in the Japanese text (page 26.)

You can play tracks repeatedly in normal play and shuffle play modes.

Proceed as follows:

To repeat	Do this
a specific track	1 Play the track you want to repeat. 2 Press PLAY MODE repeatedly until "REPEAT 1" appears.
all the tracks	1 Start play. 2 Press PLAY MODE repeatedly until "REPEAT" appears.
tracks in random order	1 Start play. 2 Press PLAY MODE repeatedly until "SHUFFLE REPEAT" appears.

To cancel Repeat Play

Press PLAY MODE until "REPEAT" disappears from the display.

►Radio

Presetting radio stations

See the illustrations in the Japanese text (pages 27.)

The player can store the stations in memory automatically (Automatic Presetting) unless a station has a weak signal. Once you've preset the stations, you can tune in your favorite stations by pressing the number button corresponding to the preset number. You can preset up to 24 stations, 12 each for FM and AM. The player has already stored the main stations in Japan. You can display the name of the station you tune in by selecting the name of prefecture.

- 1 Press RADIO FM/AM to select FM or AM.
- 2 Press and hold PRESET (AUTO/MANUAL) until "AUTO PRESET" flashes in the display. The stations are stored from preset number 1 in numerical order as well as from the lower frequencies unless a station has a weak signal. When the player has finished presetting, the station of preset number 1 is tuned in automatically and the name of the prefecture appears in the display.
- 3 Turn the jog dial to select the name of the prefecture.

If you do not want to display the name of the station

Press PRESET (AUTO/MANUAL).

- 4 Press ENTER/YES. The names of the stations are stored in memory. When you tune in a preset station, the name of the station will appear in the display.

If a station cannot be preset automatically due to a weak signal, or if you want to preset a station on a particular preset number (manual presetting)

- 1 Press RADIO FM/AM to select FM or AM.
- 2 Turn the jog dial to tune in the station you want to preset, and press PRESET (AUTO/MANUAL).
- 3 Turn the jog dial to select a particular preset number.
- 4 Press ENTER/YES. If the name of prefecture has been stored in memory, the name of the station appears in the display. The new station replaces the old one.

Playing preset radio stations

See the illustrations in the Japanese text (page 30.)

Once you've preset the stations, you can tune in your favorite stations by selecting the preset number.

- 1 Press RADIO FM/AM to select FM or AM.
- 2 Press TUNING + or - on the player repeatedly to select the preset number you want. If the name of the station is stored in memory, it appears in the display.



You can select the preset number using PRESET + or - or the number buttons on the remote control. To select the preset number 11 or 12 When you select a preset number over 10, press > 10 first, then the corresponding number buttons. Example: To select the preset number 12, press > 10 first, then 1 and 2.

►Recording

Recording from the radio or a CD

See the illustrations in the Japanese text (pages 31.)

You can record from the radio or a CD to an MD using REC. You can start or stop recording at any point you want. You can also pause recording. Once the clock is set, the recording date and time is stamped automatically.

Recording from the radio

When receiving conditions are good, track marks are added on the MD automatically:

- when there is no sound input during recording for more than two seconds.
- when a soft sound like pianissimo continues during recording.
- when you pause recording.

If unnecessary track marks are added, erase them after recording.

- 1 Insert a new MD.
- 2 Press REC. Recording does not start (recording standby mode).
- 3 Tune in the station you want to record from.
- 4 Press ►|| on the MD section. Recording starts.

To stop recording

Press ■ on the MD section.

To pause recording

Press ►|| on the MD section.

Recording from a CD

Track marks on the source CD are recorded on the same positions on the MD. Track marks are also added automatically on the MD when you pause recording. If unnecessary track marks are added, erase them after recording.

- 1 Insert a new MD.
- 2 Press REC. Recording does not start (recording standby mode).
- 3 Press ■ on the CD section to activate the CD player.
- 4 Insert a CD.
- 5 Press ►|| on the MD section. Recording starts.
- 6 Press ►|| on the CD section. The player starts playing the CD.

To stop recording

Press ■ on the MD section.

To pause recording

Press ►|| on the MD section.

Recording on a recorded MD

There are two ways of recording on a recorded MD.

- To add to the previous recording. The previous recording will remain.
- To record over the previous recording. The previous recording will be erased.

Adding recording (the previous recording will remain)

Insert a recorded MD, and start recording by pressing SYNCHRO REC CD → MD or REC. If the MD has any previous recording, recording will be made from the last recorded position.

If there is not enough space on the MD

When recording a whole CD, "CD>MD OK?" appears in the display.

When recording from the radio or a CD, the remaining recording time on the MD will be displayed after you pressed REC. Proceed with recording, referring to the displayed remaining time.

Recording over the previous recording (the previous recording will be erased)

To record over from the beginning of the MD after erasing all tracks on an MD

First, erase all tracks on an MD using the ERASE function. You can use the MD the same as a new one. Then, record on the MD as usual.

To record over from a specific point on the MD

Play the MD and press ►|| on the MD section to pause play at the point you want to start recording. Press REC to start recording.

▶Editing recorded tracks on the MD

Before editing

On the MD, track marks are inserted between the tracks. You can find the beginning of the tracks quickly using the track marks.

You can change the positions of the track marks. For instance, you can divide a certain selection into several tracks by adding track marks. You can also combine some selections into a new longer selection by erasing some track marks.

The positions of the track marks to be added are different depending on the type of recording or recording conditions

The type of recording	The position of the track marks to be added
Recording a whole CD	The same positions on the source CD
Recording from a CD using REC	<ul style="list-style-type: none">• The same positions on the source CD• The position where you pause recording• The position where you press REC
Recording from the radio or other equipment connected to the player	<ul style="list-style-type: none">• When there is no sound input or a soft sound continues during recording for more than two seconds• The positions where you pause recording• The positions where you press REC

You can add or erase track marks after recording. When you record, for instance, from a radio or other equipment connected to the player, track marks may be added to the positions you do not want. If that happens, change the positions of the track marks to those you want.

Change the track marks correctly

- To erase a track mark → "Combining recorded tracks (Combine Function)": You can combine two tracks into a single one by erasing the track mark between the two tracks.
- To add a track mark → "Dividing recorded tracks (Divide Function)": You can divide one track into two tracks by adding a track mark.

You can also use the following functions

- Erasing a single track → "Erasing recordings (Erase Function)"
- Erasing all tracks on an MD → "Erasing recordings (Erase Function)"
- Changing the order of the tracks → "Moving recorded tracks (Move Function)"
- Locating any point in the track quickly → "Dividing recorded tracks (Divide Function)"
- Combining several independently recorded portions into a single track → "Erasing recordings (Erase Function)" and "Combining recorded tracks (Combine Function)"

Erasing recordings (Erase Function)

See the illustrations in the Japanese text (pages 33 and 34.)

You can quickly erase the recorded tracks or unnecessary portion in the track. Unlike a tape deck, you don't have to record over the previous recordings.

Here are the three options to erase recordings:

- Erasing a single track (the section from a certain track mark to the next one)
- Erasing all tracks on an MD
- Erasing a portion of a track

Erasing a single track

When you erase a track, the total number of tracks on the MD decreases by one and all the tracks following the erased one are renumbered.

- 1 Play or pause the track you want to erase.
- 2 Press ERASE. "ERASE OK?" appears in the display. If you want to cancel the erase function at this point Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 3 Press ENTER/YES. "Complete" appears for a few seconds, and the current track playing and its track number are erased.

Erasing all tracks on an MD

You can erase the disc name, all recorded tracks and titles at the same time. After you've erased all tracks on the MD, you can use it as a new MD. Note that you cannot recover the data once erased.

- 1 While the player is stopped, press ERASE.
"All Erase?" appears in the display.
If you want to cancel the erase function at this point
Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 2 Press ENTER/YES.
After "TOC EDIT" disappears from the display, "BLANK MD" flashes, and all recorded tracks and titles are erased.

Erasing a portion of a track

By using the Divide, Erase, and Combine functions, you can erase a specific portion of a track.

Example: Erasing a portion of track A

- 1 Divide track A into three parts.
- 2 Erase part 2.
- 3 Combine parts 1 and 3.

Dividing recorded tracks (Divide Function)

See the illustrations in the Japanese text (page 35.)

When recording from the radio, etc., track marks may not be added correctly. A number of tracks may be included in a single track. You can divide these tracks into separate tracks, and add a new track number to each track. All tracks following the divided tracks are renumbered.

- 1 While playing the MD, press ►|| on the MD section at the point where you want to create a new track.
The player pauses.
- 2 Press DIVIDE.
"DIVIDE OK?" appears in the display.
If you want to cancel the divide function at this point
Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 3 Press ENTER/YES.
"Complete" appears for a few seconds, and the track has been divided. The original track only has the track title, while the new track has no title.

Combining recorded tracks (Combine Function)

See the illustrations in the Japanese text (page 36.)

You can combine two adjacent tracks into a single one. After you combine the tracks, all tracks following the combined tracks are renumbered.

- 1 Play the track you want to combine.
Example: To combine track B and track C, play track C.
- 2 Press COMBINE.
"COMBINE OK?" appears in the display.
The player pauses.
If you want to cancel the combine function at this point
Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 3 Press ENTER/YES.
"Complete" appears for a few seconds, and the tracks are combined. If both of the combined tracks have track titles, the title of the second track is erased.

Moving recorded tracks (Move Function)

See the illustrations in the Japanese text (page 37.)

You can change the order of the tracks. After you move a track, the track numbers are renumbered automatically.

- 1 Play the track you want to move.
- 2 Press MOVE.
In case of the example on page 37, "→ Track 003?" appears in the display.
- 3 Turn the jog dial to select the new track position.
If you want to cancel the move function at this point
Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 4 Press ENTER/YES.
"Complete" appears for a few seconds, and disappears from the display. The track has been moved.

Labeling recordings (Name Function)

See the illustrations in the Japanese text (page 38.)

You can label the MDs and tracks you recorded with letters, numbers and symbols. Each label can be made up of up to 200 characters. Each MD can include up to about 1,700 characters in numbers and symbols, and about 800 characters in Japanese *katakana* letters.

Labeling an MD

- 1 While the MD play is stopped, press NAME.
If the disc name has been labeled, the disc name appears in the display.
- 2 Press NAME repeatedly to select the type of characters.
Each time you press NAME, the character changes as follows:
Japanese *katakana* letters → Uppercase letters → Lowercase letters → Numbers and symbols.
You can use the following characters:

The type of characters	Characters (symbols)
Japanese <i>katakana</i> letters	アイウエオ.....ヤユヨツ , / : (space)
Uppercase letters	ABCD.....WXYZ , / : (space)
Lowercase letters	abcd.....wxyz , / : (space)
Numbers and symbols	0123456789!"#\$%&()* .;<=>?@_`+ -',/: (space)

- 3 Turn the jog dial counterclockwise or clockwise to select the characters.
- 4 Press →.
The cursor shifts rightward and waits for the input of the next character.
- 5 Repeat steps 2 through 4 to complete the entire name.
If you want to cancel the name function at this point
Press CANCEL/NO or ■ on the MD section.
- 6 Press ENTER/YES.
The name has been labeled on the MD.

Labeling a track

- 1 Play the track you want to label.
- 2 Press NAME.
If the track name has been labeled, the track name appears in the display.
- 3 Input the characters according to step 2 through 6 of "Labeling an MD."

To change the existing name
Do the steps above.

To change the characters

- **To add a character after the existing characters**
 - ① Move the cursor to the right of the last character using →.
 - ② Turn the jog dial to select the character and press ENTER/YES.
- **To change the characters**
 - ① Move the cursor to the character you want to change.
 - ② Turn the jog dial to select the character and press ENTER/YES.
- **To delete the character**
 - ① Move the cursor to the character you want to delete.
 - ② Press DELETE and press ENTER/YES.
If you press DELETE repeatedly, the characters will be deleted one after another.
- **To insert a character**
 - ① Move the cursor to the place you want to add a character.
 - ② Press INSERT to make a space between the characters.
 - ③ Turn the jog dial to select the character and press ENTER/YES.

►Timer

Waking up to music

See the illustrations in the Japanese text (page 40.)

You can wake up to your favorite CD or MD music and a radio program at a preset time.
Make sure to set the clock first. If you have not set the clock, the timer function does not work.

Inputting the timer settings

If "TIMER PLAY" or "TIMER REC" appears in the display, turn it off by pressing STANDBY.

- 1 Press TIMER.
"TIMER PLAY" or "TIMER REC" flashes in the display.
- 2 Turn the jog dial to display "TIMER PLAY" and press ENTER/YES.
One of the FUNCTION indicators (MD, CD, RADIO and LINE) flashes.
- 3 Turn the jog dial to select the indicator corresponding to the music source you want to select, and press ENTER/YES.
The hour digit flashes in the display.
- 4 Turn the jog dial to set the timer to the hour and the minutes you want the music to go on.
 - ① Set the hour and press ENTER/YES.
 - ② Set the minutes and press ENTER/YES.
- 5 Turn the jog dial to set the timer to the hour and the minutes you want the music to go off.
Input of the timer settings is completed.
To make the player enter the standby mode, see "Making the player enter the timer standby mode."

To check and change when the playback starts

Press TIMER, then ENTER/YES repeatedly. Each time you press ENTER/YES, a stored setting is displayed. If you want to change the setting, change it using the jog dial while the setting is displayed.

Making the player enter the timer standby mode

- 1 Prepare the music source you have set.

Source	Do this
CD	Insert a CD you want to play.
MD	Insert a CD you want to play.
RADIO	Tune in a station.
LINE (the equip- ment connected to the player)	Make the equipment enable to operate at the preset time.

- 2 Turn VOLUME to adjust the volume.
- 3 Press STANDBY.
"TIMER PLAY" appears in the display, and the player enters the standby mode. At the preset time to turn on, the ⊕ indication lights up in the display and music will start to play automatically. At the preset time to turn off, the ⊕ indication disappears from the display and the power will go off. The player will enter the standby mode again. As long as the player is in the standby mode, the timer works every day. However, make sure to check if the music source you want to play has been prepared properly.

To exit the standby mode

Press STANDBY to make "TIMER PLAY" disappear from the display.

To use the player before a timer playback starts

Press POWER to turn on the player and use it as usual. When you finish using, make sure to turn it off by pressing POWER. The player enters the standby mode again.
Note that if you change the radio station, the station newly tuned in will play at the preset time.

To stop play

Press POWER to turn off the player.

Timer-recording radio programs

See the illustrations in the Japanese text (page 42.)

You can set timer to record the radio program while you are away from home, midnight, etc.
Make sure to set the clock first. If you have not set the clock, the timer function does not work.

Inputting the timer settings

If "TIMER PLAY" or "TIMER REC" appears in the display, turn it off by pressing STANDBY.

- 1 Press TIMER.
"TIMER PLAY" or "TIMER REC" flashes in the display.
- 2 Turn the jog dial to display "TIMER REC" and press ENTER/YES.
One of the FUNCTION indicators (RADIO and LINE) flashes.
- 3 Turn the jog dial to make the RADIO indicator flash, and press ENTER/YES.
The hour digit flashes in the display.
- 4 Turn the jog dial to set the timer to the hour and the minutes you want to start recording.
 - ① Set the hour and press ENTER/YES.
 - ② Set the minutes and press ENTER/YES.
- 5 Turn the jog dial to set the timer to the hour and the minutes you want to stop recording.
Input of the timer settings is completed.
To make the player enter the standby mode, see "Making the player enter the timer standby mode."

To check and change when the playback starts

Press TIMER, then ENTER/YES repeatedly. Each time you press ENTER/YES, a stored setting is displayed. If you want to change the setting, change it using the jog dial while the setting is displayed.

Making the player enter the timer standby mode

- 1 Tune in the radio station and insert a recordable MD.
Make sure to check the remaining recording time on the MD.
- 2 Turn VOLUME to adjust the volume.
Adjusting the volume will not affect the recording level.
- 3 Press STANDBY.
"TIMER REC" appears in the display, and the player enters the standby mode. At the preset time to turn on, the ☺ indication lights up in the display and the player will start recording automatically. At the preset time to turn off, the ☺ indication disappears from the display and the power will go off. The player will enter the standby mode again.
As long as the player is in the standby mode, the timer is kept working and the player starts to record at the preset time every day. However, make sure to check if the radio station has been tuned in properly.

To exit the standby mode
Press STANDBY to make "TIMER REC" disappear from the display.

To use the player before a timer recording starts

Press POWER to turn on the player and use it as usual. When you finish using, make sure to turn it off by pressing POWER. The player enters the standby mode again.
Note that if you change the radio station, the station newly tuned in will play at the preset time.

To stop play
Press POWER to turn off the player.

Falling asleep to music (Sleep Function)

See the illustrations in the Japanese text (page 44.)

You can set the player to turn off automatically so you can fall asleep while listening to music. The player will turn off after 10 to 120 minutes (unit: 10 minutes.)

- 1 Play your favorite music source.
- 2 Press SLEEP.
"SLEEP" and the length of sleep timer (unit: 10 minutes) appear in the display. To change the length of sleep timer, press SLEEP repeatedly.
After about 10 seconds have passed, the display turns off and enters the sleep timer mode.

To check the remaining time of the sleep timer
Press SLEEP TIMER once.

To change the preset time
Do step 2 again.

To cancel the sleep function and continue to listen to music
Press SLEEP, then CANCEL/NO.
Another way is to press SLEEP repeatedly until "SLEEP" disappears from the display.

To cancel the sleep function and turn off the player right away
Press POWER.

►Additional Information

Connecting optional components

See the illustrations in the Japanese text (pages 45 and 46.)

You can enjoy the sound from TV or VCR through the speakers of this player by connecting TV or VCR to this player. You can also record the sound from this player on a radio cassette corder by connecting a radio cassette-corder to this player. Before making connections, be sure to do as follows:

- Turn off the player by pressing POWER
- Connect the connecting cord securely

Listening to TV or VCR sound

- 1 Make connections.
- 2 Turn on this player.
- 3 Press LINE until "LINE" appears in the display.
The LINE indicator lights up.
- 4 Turn on the TV, etc. and adjust the volume on this player.

Recording the sound from other components on this player

- 1 Insert a recordable MD.
- 2 Press LINE until "LINE" appears in the display.
- 3 Press REC.
The recording does not start.
- 4 Press ►|| on the MD section.
Recording starts.
- 5 Play other component connected to this player.

Recording the sound from this player on a radio cassette-corder

- 1 Insert a blank cassette into the radio cassette-corder.
- 2 Press REC (recording) on a radio cassette-corder.
- 3 Start play on this player.

Connecting an antenna (not supplied)

See the illustrations in the Japanese text (page 46.)

To improve FM reception

Connect an FM antenna (not supplied). You can also use a TV antenna by using a separator.

Messages in the display

When playing an MD or CD, the following messages appear in the display.

BLANK MD:

You tried to play an MD with no recording on it.

CANNOT EDIT:

- You tried to use the combine function when playing the first track on an MD.
- You tried to combine the tracks you cannot combine. (Example: A track recorded in monaural and a track recorded in stereo)

DISC ERROR:

The MD is scratched or dirty, or damaged.

DISC FULL:

There is no more space to record on the MD.

ERROR STOP:

- The player stopped recording because of malfunction.
- The MD whose recording and editing are not readable is inserted.

MEM OVER:

When you start recording, the player has not been prepared for recording. The beginning of the first track may not have been recorded.

NAME FULL:

You tried to enter more than 200 characters for track or disc name or, the characters entered in the MD total more than about 1,700.

NO CD:

You tried to play with no CD in this player.

NO MD:

You tried to play or record with no MD in this player.

PB MD:

You tried to record or edit on a premastered MD (PB means playback.)

PROTECTED:

You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

TEMP OVER:

Heat has built up in the player.

TRACK FULL:

There are too many tracks recorded or edited on the MD so that you can no longer record or edit on the MD.

TRK PROTECT:

You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over on other MD player.

株式会社SME・ファミリーズ

〒102-8353 東京都千代田区六番町4-5 SME六番町ビル

お問い合わせは、お買い上げいただいた販売代理店もしくは、
SME・ファミリーズ セレブリティご相談窓口へ
SME・ファミリーズ セレブリティご相談窓口：電話番号(03) 5211-1760